

呼吸器内科

副院長 柴山 卓夫
診療部長 米井 敏郎
医長 藤原 慶一, 佐藤 賢

● 診療科の特色

- 呼吸器専門医／指導医(日本呼吸器学会), 気管支鏡専門医／指導医(日本呼吸器内視鏡学会), がん治療認定医(日本がん治療認定医機構), あるいはがん薬物療法専門医／指導医(日本臨床腫瘍学会)である常勤医師と, 呼吸器内科レジデント／専攻医が診療にあたっている。
- 呼吸器系専門病棟(10階 B 病棟は呼吸器内科と呼吸器外科で構成され, 病床数 48 床)を中心に常時 40~60 人, 年間 1000 人を超える入院患者に対応している。呼吸器内科と呼吸器外科とが同じフロアで診療しているため, 疾患に応じてシームレスで円滑なチーム医療が可能となっている。
- 外来は常勤医師 7 名が交替で休みなく毎日行っており, 1日に 30~50 名の患者が来院している。
- 肺癌を中心とした胸部悪性疾患, 細菌性肺炎などの呼吸器感染症, 気管支喘息などのアレルギー疾患, 間質性肺疾患など, 呼吸器疾患全般を幅広くカバーした診療を行っている。これらの疾患は, 全身の臓器にまたがっていることが多く, 他の診療科と密に連携して治療を行っているのが最大の特徴である。また, 最近では COVID-19 の診療に主体的に関わっている。
- 呼吸器科領域全般の多岐にわたる症例が県内外より集まり, 24 時間オンコール体制を組んで対応, 呼吸器インターベンションを含む高度な最先端の医療も提供している。

《当科で扱う疾患と主な診療内容》

- ◆ 胸部異常陰影に対する精査: 気管支鏡検査, CT ガイド下生検
- ◆ 肺癌に対する治療: 化学療法, 放射線療法, 手術, 免疫療法, 緩和治療
- ◆ 感染性肺炎に対する治療: 起炎病原体の推定, 適切な抗菌剤の選択
- ◆ 間質性肺疾患に対する治療: 抗線維化剤, ステロイドパルス療法, 免疫抑制剤を用いた治療など
- ◆ 慢性閉塞性肺疾患(COPD), 肺気腫: 気管支拡張剤吸入療法
- ◆ 慢性呼吸不全: 在宅酸素療法(HOT)の導入, 呼吸リハビリテーション, 人工呼吸管理
- ◆ 気管支喘息に対する治療: ステロイド吸入, 気管支拡張剤吸入療法, 生物学的製剤
- ◆ 気道狭窄などに対する呼吸器インターベンション(中四国では数施設のみ)
- ◆ その他, 呼吸器希少疾患など

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 1,187 人

	疾患	患者数
1	肺がん	574
2	胸部異常陰影・検査	177
3	非感染性肺炎	149
4	感染性肺炎(うち COVID-19)	110 (23)
5	胸膜疾患	70
6	気管支・肺血管疾患	40
7	悪性腫瘍関連	26
8	COPD・呼吸不全	14
9	気管支喘息	5
10	その他	22
	合計	1187

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
気管支鏡検査数	60	79	89	113	140	197	230	267	205	217
年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
気管支鏡検査数	211	252	238	234	310	307	350	362	363	340

年度	硬性鏡	ステント留置		EBUS(超音波内視鏡)		BT (サーモプラスティ)	EWS (気管支充填術)	異物除去/気 管支腫瘍切除
		シリコンステント	メタルステント	EBUS-TBNA	EBUS-GS			
2013	2例	1例	3例	8例	18例	---	4例	1例
2014	4例	3例	1例	19例	73例	---	5例	1例
2015	10例	7例	1例	24例	116例	---	0例	3例
2016	10例	4例	1例	35例	94例	6例	2例	3例
2017	10例	5例	0例	45例	86例	5例	3例	1例
2018	14例	2例	8例	45例	100例	7例	1例	1例
2019	7例	1例	6例	42例	122例	3例	2例	2例
2020	6例	4例	3例	33例	105例	0例	7例	1例

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Higo H, Miyahara N, Taniguchi A, Senoo S, Itano J, Watanabe H, Oda N, Kayatani H, Ichikawa H, Shibayama T, Kajimoto K, Tanimoto Y, Kanehiro A, Maeda Y, Kiura K; OKAYAMA respiratory disease study group (ORDSG). Deterioration of high-resolution computed tomography findings predicts disease progression after initial decline in forced vital capacity in idiopathic pulmonary fibrosis patients treated with pirfenidone. *Respir Investig* 2020;58(3):185-189.
- 2) Senoo S, Miyahara N, Taniguchi A, Oda N, Itano J, Higo H, Hara N, Watanabe H, Kano H, Suwaki T, Fuchimoto Y, Kajimoto K, Ichikawa H, Kudo K, Shibayama T, Tanimoto Y, Kuyama S, Kanehiro A, Maeda Y, Kiura K; Okayama Respiratory Disease Study Group (ORDSG). Nintedanib can be used safely and effectively for idiopathic pulmonary fibrosis with predicted forced vital capacity \leq 50%: A multi-center retrospective analysis. *PLoS One* 2020;15(8):e0236935.
- 3) Matsuura H, Fujiwara K, Omori H, Onishi K, Kuribayashi T, Mitsumune S, Takigawa Y, Kudo K, Minami D, Sato A, Sato K, Shibayama T. Successful Treatment with Benralizumab for Allergic Bronchopulmonary Aspergillosis that Developed after Disastrous Heavy Rainfall in Western Japan. *Intern Med* 2021;60(9):1443-1450.
- 4) Ohashi K, Ninomiya K, Yoshioka H, Bessho A, Shibayama T, Aoe K, Ishikawa N, Kozuki T, Kawai H, Kuyama S, Miyoshi S, Fujitaka K, Obata H, Tsubata Y, Awaya Y, Inoue M, Inoue K, Horita N, Yanai H, Hotta K, Kiura K. Impact of HER2 expression on EGFR-TKI treatment outcomes in lung tumors harboring EGFR mutations: A HER2-CS study subset analysis. *Lung Cancer* 2020;150:83-89.
- 5) Ichihara E, Harada D, Inoue K, Shibayama T, Hosokawa S, Kishino D, Harita S, Ochi N, Oda N, Hara N, Hotta K, Maeda Y, Kiura K. Characteristics of patients with EGFR-mutant non-small-cell lung cancer who benefited from immune checkpoint inhibitors. *Cancer Immunol Immunother* 2021;70(1):101-106.

- 6) Hosokawa S, Ichihara E, Bessho A, Harada D, Inoue K, Shibayama T, Kishino D, Harita S, Ochi N, Oda N, Hara N, Hotta K, Maeda Y, Kiura K. Impact of previous thoracic radiation therapy on the efficacy of immune checkpoint inhibitors in advanced non-small-cell lung cancer. *Jpn J Clin Oncol* 2021;51(2):279-286.
- 7) Matsuura H, Fujiwara K, Omori H, Onishi K, Kuribayashi T, Mitsumune S, Takigawa Y, Kudo K, Sato A, Sato K, Shibayama T. Reply to "Benralizumab as First-line Treatment for ABPA: Is It Really Indicated?". *Intern Med* 2021 Feb 15.
- 8) Tanzawa S, Ushijima S, Shibata K, Shibayama T, Bessho A, Kaira K, Misumi T, Shiraishi K, Matsutani N, Tanaka H, Inaba M, Haruyama T, Nakamura J, Kishikawa T, Nakashima M, Iwasa K, Fujiwara K, Kohyama T, Kuyama S, Miyazawa N, Nakamura T, Miyawaki H, Ishida H, Oda N, Ishikawa N, Morinaga R, Kusaka K, Fujimoto N, Yokoyama T, Gemba K, Tsuda T, Nakagawa H, Ono H, Shimizu T, Nakamura M, Kusumoto S, Hayashi R, Shirasaki H, Ochi N, Aoe K, Kanaji N, Kashiwabara K, Inoue H, Seki N. A phase II study of S-1 and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy followed by durvalumab for unresectable, locally advanced non-small-cell lung cancer in Japan (SAMURAI study). *Ther Adv Med Oncol* 2021;13:1758835921998588.
- 9) Nishii K, Inoue M, Obata H, Ueda Y, Kozuki T, Yamasaki M, Moritaka T, Awaya Y, Sugimoto K, Gemba K, Kuyama S, Ichikawa H, Shibayama T, Kubota T, Kodani M, Kishino D, Fujimoto N, Ishikawa N, Tsubata Y, Ishii T, Fujitaka K, Hotta K, Kiura K. Novel prospective umbrella-type lung cancer registry study for clarifying clinical practice patterns: GS-Lung-003 study protocol. *Thorac Cancer* 2021;12(5):725-731.
- 10) Kudo K, Kawakado K, Kawajiri T, Nishi T, Makimoto G, Tamura T, Kuyama S, Tanimoto M. Dramatic response of brain metastasis from EGFR-mutation-positive NSCLC to dacomotinib. *Intern Med* 2020;59(14):1739-1740.
- 11) 山原美穂, 藤原慶一, 下西惇, 松浦宏昌, 西村淳, 尾関太一, 萱谷紘枝, 南大輔, 佐藤賢, 柴山卓夫. EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌に対してニボルマブが奏効した 1 例. *呼吸臨床* 2020 年 4 巻 6 号 No.e00102.
- 12) 工藤健一郎, 市原英基. COVID-19 における肺炎. 癌と化学療法. 2020;47(12):1657-1661.

2. 学会、研究会

- 1) 咽頭麻酔にカテーテルスプレー法を導入したフェンタニルとミタゾラム併用下の気管支鏡検査の苦痛度評価試験
南大輔, 瀧川奈義夫, 下西惇, 西村淳, 尾関太一, 松浦宏昌, 佐藤晃子, 佐藤賢, 藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020 年 6 月 26 日
- 2) 当院における気道狭窄症例に対する AERO ステント有用症例の検討
南大輔, 佐藤賢, 下西惇, 西村淳, 松浦宏昌, 尾関太一, 萱谷紘枝, 佐藤晃子, 藤原慶一, 柴山卓夫
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020 年 6 月 26 日
- 3) ガイドワイヤー法による気管支充填術が有用であった有癭性膿胸の 1 例
山原美穂, 佐藤賢, 下西惇, 松浦宏昌, 西村淳, 尾関太一, 岩本佳隆, 萱谷紘枝, 工藤健一郎, 南大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020 年 6 月 26 日

- 4) 化学放射線治療後の気道狭窄に Micro Tech 気道用バルーンによる拡張術が有用であった肺扁平上皮癌の1例
 松浦宏昌, 南大輔, 下西惇, 尾関太一, 西村淳, 萱谷紘枝, 工藤健一郎, 佐藤晃子, 佐藤賢, 藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫
 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020年6月27日
- 5) 食道狭窄を契機に発見された気管支原発腺癌の1例
 田村朋季, 槇本剛, 工藤健一郎
 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020年6月27日
- 6) 問診より月経随伴気胸を疑い, 胸腔鏡下に希少部位子宮内膜症を確認し, 病理学的に診断した1例
 瀧川雄貴, 佐藤賢, 光宗翔, 工藤健一郎, 南大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫, 田中孝明, 武口哲也, 松田麻子, 藤本伸一, 伊賀徳周
 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020年6月27日
- 7) 経気管支肺生検で病理学的に悪性所見が得られず, 気管支洗浄液から EGFR 遺伝子変異を検出した肺癌の検討
 高田健二, 市原英基, 角南良太, 西達也, 大川祥, 中村尚季, 中須賀崇匡, 狩野裕久, 西井和也, 渡邊洋美, 二宮貴一郎, 加藤有加, 谷口暁彦, 久保寿夫, 頼冠名, 大橋圭明, 堀田勝幸, 宮原信明, 田端雅弘, 木浦勝行, 前田嘉信
 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020年6月27日
- 8) 非小細胞肺癌化学放射線療法における食道炎に対するアルギン酸 Na の有用性を検討する無作為化比較試験(OLCSG1401)
 久山彰一, 工藤健一郎, 尾形毅, 二宮貴一郎, 尾瀬功, 吉岡弘鎮, 別所昭宏, 細川忍, 上月稔幸, 原田大二郎, 八杉昌幸, 村上斗司, 中西将元, 瀧川奈義夫, 勝井邦彰, 前田嘉信, 堀田勝幸, 木浦勝行
 第60回日本呼吸器学会学術講演会 2020年9月21日
- 9) 当院における EGFR 遺伝子変異陽性肺癌患者に対するダコチニブの有用性について
 川尻智香, 工藤健一郎, 河角敬太, 西達也, 田村朋季, 久山彰一
 第60回日本呼吸器学会学術講演会 2020年9月21日
- 10) EGFR 改変肺癌マウスモデルを用いた Ad-SGE-REIC の抗腫瘍効果の検討
 中須賀崇匡, 大橋圭明, 西井和也, 平生敦子, 大川祥, 安藤千裕, 原尚史, 狩野裕久, 渡邊洋美, 二宮貴一郎, 加藤有加, 二宮崇, 久保寿夫, 頼冠名, 市原英基, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行
 第61回日本肺癌学会学術集会 2020年11月12日
- 11) SHP2 阻害剤は遺伝子変異陽性肺癌細胞株における分子標的薬の効果を増強する
 狩野裕久, 市原英基, 大川祥, 平生敦子, 安藤千裕, 中須賀崇匡, 原尚史, 西井和也, 渡邊洋美, 二宮貴一郎, 加藤有加, 二宮崇, 久保寿夫, 頼冠名, 大橋圭明, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行
 第61回日本肺癌学会学術集会 2020年11月12日
- 12) EGFR 改変肺癌マウスモデルを用いた EGFR-TKI, 抗 VEGFR-2 抗体と抗 PD-1 抗体併用療法の検討
 西井和也, 大橋圭明, 中須賀崇匡, 平生敦子, 大川祥, 渡邊洋美, 狩野裕久, 原尚史, 安藤千裕, 二宮貴一郎, 加藤有加, 二宮崇, 久保寿夫, 頼冠名, 市原英基, 堀田勝幸, 田端雅弘, 鶴殿平一郎,

- 前田嘉信, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 12 日
- 13) カテーテルスプレー法で喉頭麻酔を行ったフェンタニルとミダゾラム併用下の気管支鏡検査の苦痛
度評価
南大輔, 瀧川奈義夫, 瀧川雄貴, 光宗翔, 栗林忠弘, 大西桐子, 工藤健一郎, 佐藤晃子, 佐藤賢,
藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 12 日
- 14) 患者由来 ROS1 肺癌細胞株の樹立と crizotinib 耐性機序の検討
渡邊洋美, 狩野裕久, 西井和也, 原尚史, 二宮貴一郎, 加藤有加, 久保寿夫, 頼冠名, 市原英基,
大橋圭明, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 12 日
- 15) EGFR 改変肺癌マウスモデルを用いた persister がん細胞に対する根治的薬物療法の開発
大川祥, 大橋圭明, 原尚史, 西井和也, 中須賀崇匡, 平生敦子, 安藤千裕, 狩野裕久, 渡邊洋美,
二宮貴一郎, 加藤有加, 久保寿夫, 頼冠名, 市原英基, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 12 日
- 16) EGFR 遺伝子変異陽性進行癌に対する治療状況に関する前向きレジストリ研究
西井和也, 中尾美香, 石川暢久, 益田武, 藤本伸一, 山崎正弘, 瀧川奈義夫, 小谷昌広, 藤原慶一,
窪田哲也, 井上政昭, 上月稔幸, 上田裕, 久山彰一, 堀田勝幸, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 13 日
- 17) ドライバー変異陰性非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の実態調査
上月稔幸, 津端由佳里, 石川暢久, 藤高一慶, 石井知也, 山崎正弘, 瀧川奈義夫, 藤本伸一, 小谷
昌広, 藤原慶一, 窪田哲也, 久山彰一, 上田裕, 井上政昭, 福田泰, 三好誠吾, 山下夏美, 堀田勝
幸, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 13 日
- 18) 局所進行 NSCLC に対する CDDP+S-1 化学放射線治療後の Durvalumab 維持療法: Trial in Progress
(Samurai Group)
也, 幸山正, 中嶋賢尚, 小田尚廣, 田中寿志, 石川暢久, 石田博雄, 笠井尚, 森永亮太郎, 松谷哲
丹澤盛, 牛島淳, 柴田和彦, 柴山卓夫, 別所昭宏, 解良恭一, 三角俊裕, 久山彰一, 宮沢直幹, 中
村純行, 関順彦
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 13 日
- 19) EGFR 遺伝子変異陽性肺癌症例における再生検の状況
工藤健一郎, 槇本剛, 津端由佳里, 石川暢久, 山口覚博, 藤本伸一, 山崎正弘, 瀧川奈義夫, 小谷
昌広, 藤原慶一, 窪田哲也, 井上政昭, 上月稔幸, 上田裕, 久山彰一, 堀田勝幸, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 14 日
- 20) 免疫チェックポイント阻害薬が有効な EGFR 遺伝子変異陽性肺癌の特徴
市原英基, 原田大二郎, 井上考司, 柴山卓夫, 細川忍, 岸野大蔵, 張田信吾, 越智宣昭, 小田尚廣,
原尚史, 堀田勝幸, 前田嘉信, 木浦勝行
第 61 回日本肺癌学会学術集会 2020 年 11 月 14 日
- 21) 肺癌レジストリ (CS-Lung-003) 研究デザインと現状
西井和也, 中尾美香, 石井知也, 藤高一慶, 石川暢久, 山崎正弘, 小谷昌広, 瀧川奈義夫, 井上政

昭, 久山彰一, 高田一郎, 窪田哲也, 藤本伸一, 張田信吾, 上月稔幸, 藤原慶一, 杉本啓介, 三好誠吾, 上田裕, 木浦勝行

第 61 回日本肺癌学会学術集会

2020 年 11 月 14 日

- 22) 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬使用症例における胸腔ドレナージ術の安全性の後方視的検討

中須賀崇匡, 大橋圭明, 原田大二郎, 中西将元, 井上考司, 別所昭宏, 藤本伸一, 藤原慶一, 小田尚廣, 市川裕久, 田村朋季, 尾瀬功, 前田嘉信, 木浦勝行

第 61 回日本肺癌学会学術集会

2020 年 11 月 14 日

- 23) 珪肺に合併し, 閉塞性肺炎と前縦隔腫瘤を契機に診断された形質芽球性リンパ腫の一例

山原美穂, 藤原慶一, 栗林忠弘, 安東愛理, 大森洋樹, 田中涼果, 大西桐子, 瀧川雄貴, 光宗翔, 松浦宏昌, 工藤健一郎, 南大輔, 佐藤晃子, 佐藤賢, 米井敏郎, 柴山卓夫

第 64 回日本呼吸器学会中国・四国地方会

2020 年 11 月 21 日

- 24) 西日本豪雨災害を契機に発症したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症に対しベンラリズマブが著効した 1 例

大森洋樹, 藤原慶一, 松浦宏昌, 安東愛理, 田中涼果, 山原美穂, 大西桐子, 栗林忠弘, 瀧川雄貴, 光宗翔, 工藤健一郎, 南大輔, 佐藤晃子, 佐藤賢, 米井敏郎, 柴山卓夫

第 64 回日本呼吸器学会中国・四国地方会

2020 年 11 月 21 日

- 25) 大腸癌気管分岐部転移に対し Dumon Y スtent留置後に Ultraflex スtentを追加し長期生存を得られている 1 例

田中涼果, 佐藤賢, 瀧川雄貴, 安東愛理, 大森洋樹, 山原美穂, 大西桐子, 栗林忠宏, 光宗翔, 松浦宏昌, 岩本佳隆, 工藤健一郎, 南大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫

第 29 回日本呼吸器内視鏡学会中国四国支部会

2020 年 11 月 21 日

- 26) 肺癌再発が疑われた PET 陽性の気管内腫瘍に対し気管支鏡下切除術で診断した肺縫合糸肉芽腫の 1 例

瀧川雄貴, 佐藤賢, 安東愛理, 大森洋樹, 山原美穂, 大西桐子, 栗林忠弘, 光宗翔, 松浦宏昌, 工藤健一郎, 南大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 米井敏郎, 柴山卓夫

第 29 回日本呼吸器内視鏡学会中国四国支部会

2020 年 11 月 21 日

- 27) Retrospective study of the carcinogenic preventive effect of nintedanib in patients with interstitial pneumonia

久保寿夫, 加藤有加, 二宮 貴一郎, 田村朋季, 越智宣昭, 八杉昌幸, 市原英基, 大橋圭明, 頼冠名, 藤原慶一, 堀田勝幸, 久山彰一, 瀧川奈義夫, 玄馬頭一, 柴山卓夫, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行

第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会

2021 年 2 月 18 日

- 28) 抗がん抗原抗体を用いた免疫チェックポイント阻害薬の効果予測法の開発

渡邊洋美, 大橋圭明, 西井和也, 二宮貴一郎, 加藤有加, 久保寿夫, 頼冠名, , 市原英基, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行

第 61 回日本肺癌学会学術集会

2020 年 11 月 13 日

3. 講演

- 1) 肺癌適正使用懇話会

柴山 卓夫

- | | | |
|----|--|-------------|
| | 岡山医療センター | 2020年9月26日 |
| 2) | 御津医師会 Online 学術講演会
柴山 卓夫
岡山医療センター | 2020年10月29日 |
| 3) | ILD Conference in Tamasu
柴山 卓夫
岡山医療センター | 2020年10月9日 |
| 4) | Lung Cancer Conference in okayama
藤原 慶一
岡山医療センター | 2020年12月19日 |
| 5) | 第17回岡山呼吸器・アレルギー研修医セミナー
工藤 健一郎
中外製薬株式会社岡山支店 | 2020年10月3日 |
| 6) | 岡山肺癌学術講演会
藤原 慶一
岡山医療センター | 2020年9月25日 |
| 7) | ILD Conference in Tamasu
佐藤 賢
岡山医療センター | 2020年10月9日 |
| 8) | Lung Cancer Web Conference
佐藤 賢
岡山医療センター | 2020年11月27日 |

●診療科の特色

- 虚血性心疾患、不整脈、心不全、肺高血圧症、心臓リハビリテーションと成人循環器疾患治療をほぼ網羅しています。
- 循環器各分野に、専門医を有しており、高いレベルでの診療を行っています。
- 市内最大級の病床を有する総合病院の利点を生かし、循環器専門病院では治療困難な併存疾患を有する症例に対しても、各科の専門医と連携をとりながら治療を行っています。
- 経験豊富な心臓血管外科チームとともに 24 時間での循環器救急治療体制が確立されています。
- 肺高血圧症に対する治療実績は世界有数であり、多くの留学生が国内外から研修に訪れています。
- 2020 年 4 月より岡山大学より不整脈診療部門長が医長として赴任し、近年急増している難治性不整脈・心不全診療が本格的に開始されました。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 1,801 人

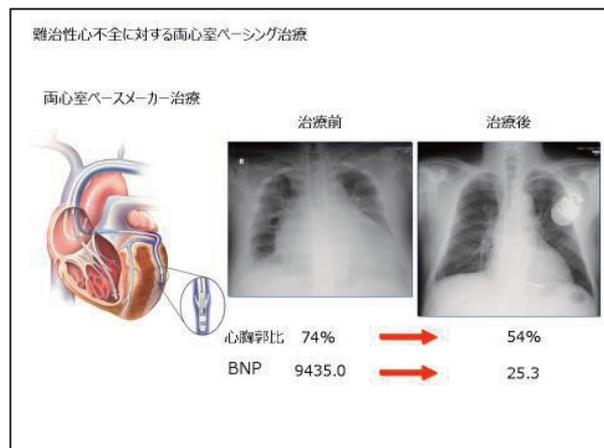
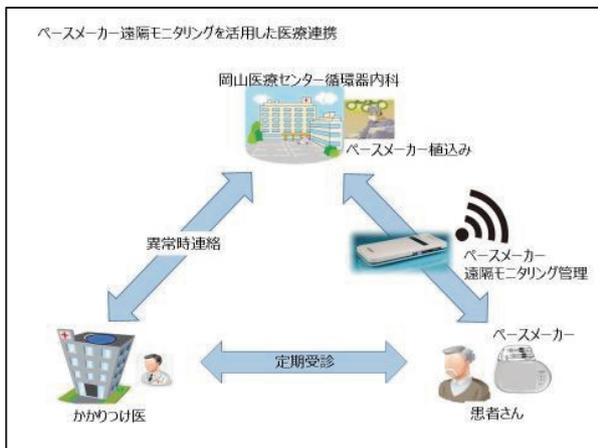
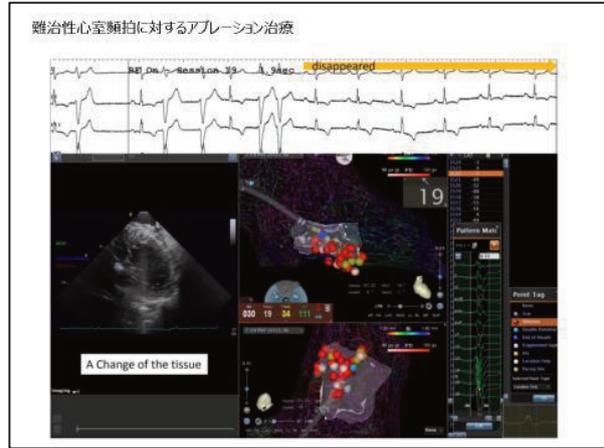
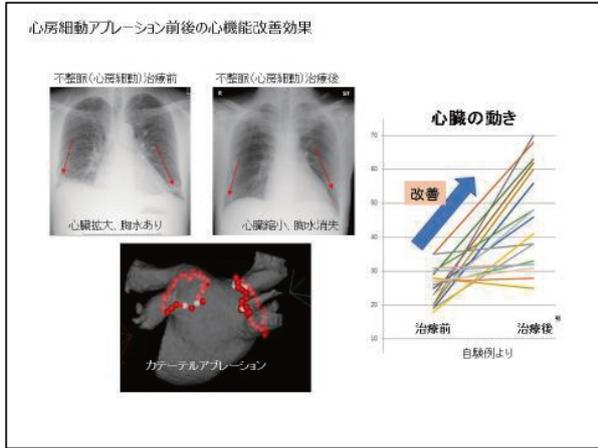
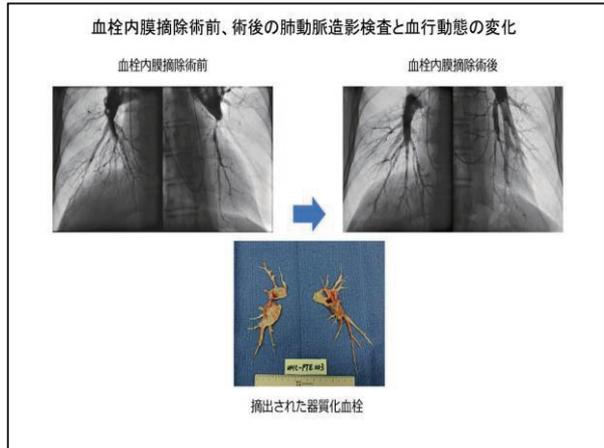
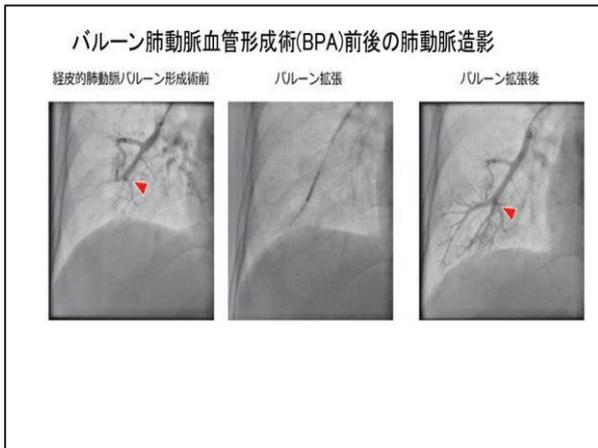
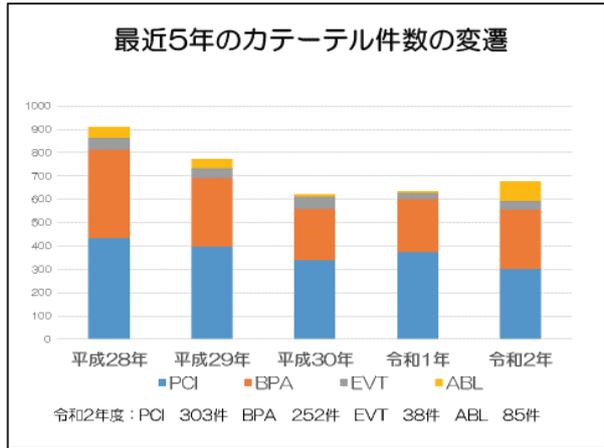
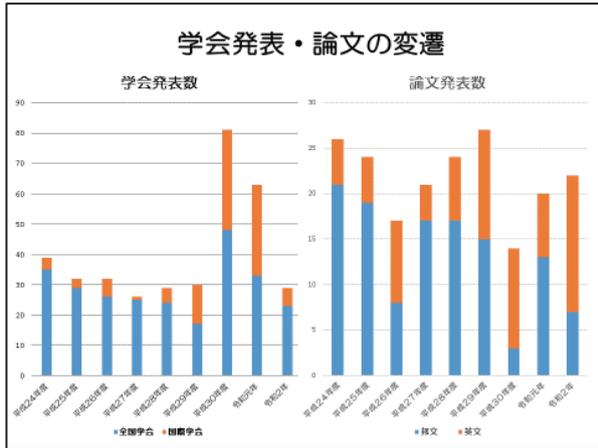
	疾患	患者数
1	狭心症	705
2	肺高血圧症・慢性血栓塞栓症肺高血圧症	454
3	心不全	147
4	不整脈疾患	133
5	急性心筋梗塞	45
6	陳旧性心筋梗塞・無症候性心筋虚血	35
7	閉塞性動脈硬化症	23
8	肺動脈狭窄症	21
9	急性肺塞栓症	18
10	ペースメーカー電池消耗	17

当院循環器内科で取り扱っている疾患

日本内科学会新専門医制度循環器領域10疾患群すべて経験可能

1	虚血性心疾患：急性冠症候群（不安定狭心症/急性心筋梗塞）
2	安定狭心症・陳旧性心筋梗塞
3	血圧異常（高血圧・低血圧）
4	頻脈性不整脈
5	徐脈性不整脈・失神
6	心臓弁膜症・感染性心内膜炎
7	先天性心疾患 肺高血圧症・肺血栓塞栓症 心臓腫瘍
8	心筋症・心筋炎・心膜疾患（心タンポナーデ、心膜炎）
9	大動脈疾患・末梢血管疾患
10	うつ血性心不全・心原性ショック 睡眠呼吸障害と睡眠時無呼吸症候群





●研究実績

1. 論文発表

- 1) M. Delcroix; A. Torbicki; D. Gopalan; O. Sitbon; F. A. Klok; I. Lang; D. Jenkins; N. H. Kim; M. Humbert; X. Jais; A. V. Noordegraaf; J. Pepke-Zaba; P. Brénot; P. Dorfmüller; E. Fadel; H. A. Ghofrani; M. M. Hoeper; P. Jansa; M. Madani; H. Matsubara; T. Ogo; E. Grünig; A. D'Armini; N. Galie; B. Meyer; P. Corkery; G. Meszaros; E. Mayer; G. Simonneau; ERS Statement on Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension. *Eur Respir J.*2020 Nov 19
- 2) K. Nakamura; S. Akagi; K. Ejiri; M. Yoshida; T. Miyoshi; M. Sakaguchi; N. Amioka; L. O. S. Suastika; M. Kondo; R. Nakayama; Y. Takaya; Y. Higashimoto; K. Fukami; H. Matsubara; H. Ito; Inhibitory effects of RAGE-aptamer on development of monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats. *J Cardiol.*2021 Jun 3
- 3) H. Shimokawahara; S. Nagayoshi; A. Ogawa; H. Matsubara; Continual Improvement in Pressure Gradient at the Lesion after Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension. *Can J Cardiol.*2021Mar 22
- 4) N. Tanabe; K. Fukuda; H. Matsubara; N. Nakanishi; N. Tahara; S. Ikeda; T. Kishi; T. Satoh; K. I. Hirata; T. Inoue; H. Kimura; Y. Okano; O. Okazaki; M. Sata; I. Tsujino; S. Ueno; N. Yamada; A. Yao; T. Kuriyama; Selexipag for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension in Japanese Patients – A Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled, Multicenter Phase II Study; *Circulation Journal.*2020 Oct .84(10):1866–1874
- 5) H. Wada; M. Suzuki; M. Matsuda; Y. Ajiro; T. Shinozaki; S. Sakagami; K. Yonezawa; M. Shimizu; J. Funada; T. Takenaka; Y. Morita; T. Nakamura; K. Fujimoto; H. Matsubara; T. Kato; T. Unoki; D. Takagi; K. Wada; M. Wada; M. Iguchi; N. Masunaga; M. Ishii; H. Yamakage; T. Kusakabe; A. Yasoda; A. Shimatsu; K. Kotani; N. Satoh-Asahara; M. Abe; M. Akao; K. Hasegawa; Impact of Smoking Status on Growth Differentiation Factor 15 and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease: The ANOX Study; *Journal of the American Heart Association.*9(22);2020 *Journal of the American Heart Association.*2020 Nov 11
- 6) H. Wada; M. Suzuki; M. Matsuda; Y. Ajiro; T. Shinozaki; S. Sakagami; K. Yonezawa; M. Shimizu; J. Funada; T. Takenaka; Y. Morita; T. Nakamura; K. Fujimoto; H. Matsubara; T. Kato; T. Unoki; D. Takagi; K. Wada; M. Wada; M. Iguchi; N. Masunaga; M. Ishii; H. Yamakage; T. Kusakabe; A. Yasoda; A. Shimatsu; K. Kotani; N. Satoh-Asahara; M. Abe; M. Akao; K. Hasegawa. Distinct Characteristics of VEGF-D and VEGF-C to Predict Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease; *Journal of the American Heart Association.*9(9):24.2020 May
- 7) K. Dan; A. Shionoda; H. Matsubara; Systematic Staged Percutaneous Balloon Pulmonary Angioplasty in Severe Inoperable Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension. *Arquivos Brasileiros De Cardiologia.*116(2):21–24.2021 Feb
- 8) H. Otsuka; T. Miyoshi; K. Ejiri; K. Kohno; M. Nakahama; M. Doi; M. Munemasa; M. Murakami; K. Nakamura; H. Ito. Possible Protective Effect of Remote Ischemic Preconditioning on Acute Kidney Injury Following Elective Percutaneous Coronary Intervention: Secondary Analysis of a Multicenter, Randomized Study. *Acta Medica Okayama.*75(1):54–53.2021 Feb

- 9) 「肺動脈疾患 肺血栓塞栓症(塞栓源となる静脈血栓症を含む)」
宗政 充 / 松原 広己
循環器診療がわかる現場の教科書診るロジックと薬の使い方 189-201 2020年10月16日
- 10) 「肺動脈疾患 肺高血圧症」
下川原 裕人 / 松原 広己
循環器診療がわかる現場の教科書診るロジックと薬の使い方 202-215 2020年10月16日
- 11) 「リスクアセスメントの罪過」
杵山 陽一 / 松原 広己
Pulmonary Hypertension Update 6 2 30-36 2020年11月30日
- 12) Ⅲ. 病態を踏まえた治療をどうするか 疾患別薬物療法 肺動脈性肺高血圧症
宮城 文音 / 下川原 裕人 / 松原 広己
救急・集中治療 32 4 1217-1222 2020年12月21日
- 13) 第8章 肺高血圧症 B. 肺動脈性肺高血圧症
松原 広己
臨床循環器学 502-510 2021年3月16日
- 14) 感染性心内膜炎加療中, 疣贅による右冠動脈塞栓を認め, カテーテルにより疣贅を回収し得た1例
白石裕雅, 宗政充, 西原大裕, 辻真弘, 林和菜, 内藤貴教, 重歳正尚, 田淵勲, 下川原裕人, 松原広己, 井上善紀, 畝大, 永喜多敬奈, 神農陽子
J-GLOBAL 52(11): 1305-1312 2020 2020年11月15日
- 15) Main Theme リスクアセスメントの功罪 Round Table Discussion
松原 広己/田中 住明/田村 雄一/辻野 一三
Pulmonary Hypertension Update 6 2 14-21 2020年11月30日

2. 学会、研究会

- 1) 6/11(Speaker); Session I: Global Overview for ultradisciplinary collaborations in chronic thromboembolic pulmonary hypertension (CTEPH): Pearls from the master of balloon pulmonary angioplasty
Hiromi Matsubara
Intercontinental Pulmonary Vascular Diseases Meeting-2 2020年6月11日
- 2) Topics: Pulmonary Hypertension-4 Recent Advances in Diagnosis and Management of Pulmonary Veno-occlusive Disease/Pulmonary Capillary Hemangiomatosis
Aiko Ogawa
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月27日
- 3) Oral Abstract 66 Atrial Arrhythmia
Atsuyuki Watanabe
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月27日

- 4) Higher Oxidized HDL is Associated with High-risk Plaques Determined by CT Angiography in Patients with Suspected with Coronary Artery Disease
Kazuki Suruga
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月27日
- 5) 肺動脈性肺高血圧症の治療戦略～内服治療の効果と限界～
下川原 裕人
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月27日
- 6) 肺高血圧症診療の変遷
松原 広己
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月29日
- 7) 肺高血圧症と静脈血栓症におけるコントラバーシー 『Section2: Warfarinis still the First Choice for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension』
松原 広己
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月30日
- 8) Symposium 24 Progress in CTEPH Treatment 『Keynote Lecture Progress in CTEPH Treatment』
Hiromi Matsubara
第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月31日
- 9) Updated aggressive treatment for PAH 2020
松原 広己
第84回日本循環器学会学術集会 2020年8月2日
- 10) 右心機能と右心負荷を心臓力学から理解する
松原 広己
第5回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020年9月26日
- 11) PVODもI群に含めるべきである
松原 広己
第5回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020年9月26日
- 12) 僧帽弁置換術10年後に肺高血圧を伴う左室流出路狭窄を来した一例
宮城 文音
第5回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020年9月26日
- 13) トレプロスチニル持続静注に置換し腹部手術をしたIPAH症例
杵山 陽一
第5回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020年9月26日
- 14) 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 悪性腫瘍との鑑別に苦慮した慢性血栓塞栓性肺高血圧症症例
杵山 陽一
第5回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020年9月26日
- 15) 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 当院における経皮的肺動脈形成術第一例目の長期経過について
宮城 文音

- 第 5 回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020 年 9 月 26 日
- 16) Pro/Con 2 NICE2018 の内容のその後について 2「PVOD を 1 群にいられたことの是非」
『PVOD も I 群に含めるべきである』
松原 広己
第 5 回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020 年 9 月 26 日
- 17) 右心機能と呼吸機能の生理学 基礎から検査法の意義と限界まで 『右心機能と右心負荷を
心臓力学から理解する』
松原 広己
第 5 回 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2020 年 9 月 26 日
- 18) BPA as a treatment option in CTEPH in 2020
Hiromi Matsubara
4th Pahlavic Congress of Pulmonary Hypertension 2020 年 10 月 10 日
- 19) Advanced management of pulmonary hypertension?
Hiromi Matsubara
3rd Eastern Pulmonary Hypertension Forum 2020 年 10 月 17 日
- 20) session 2 : Progress of PTPA in CTEPH 1/9 (Speaker); Lowering mPAP as a treatment goal
Hiromi Matsubara
the 2021 Chongqing Pulmonary Hypertension Conference 2021 年 1 月 9 日
- 21) Two cases of saphenous vein graft anastomosis failure who treated with drug coated balloon
重歳 正尚
第 29 回日本心血管インターベンション治療学会 2021 年 2 月 18 日
- 22) A case of a young woman who developed ACS due to SCAD
林 和菜
第 29 回日本心血管インターベンション治療学会 2021 年 2 月 18 日
- 23) Lipid-lowering therapy and perioperative cardiovascular event of carotid artery stenting-
Analysis of cases in our institute
宗政 充
第 29 回日本心血管インターベンション治療学会 2021 年 2 月 18 日
- 24) Symposium 15 3/20 (Chair & Speaker); VTE, Unmet Needs
Hiromi Matsubara
11th Congress of the Asian-Pacific Society on Thrombosis and Hemostasis (APSTH 2021)
2021 年 3 月 20 日
- 25) Outcome of the Mean Pulmonary Arterial Pressure Based Aggressive Treatment for Patients
with Pulmonary Arterial Hypertension
枚山 陽一
第85回日本循環器学会学術集会 2021 年 3 月 26 日
- 26) The Determinants for the Improvement of Cardiac Output after Balloon Pulmonary Angioplasty
in Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
兼澤 弥咲

- 第85回日本循環器学会学術集会 2021年3月26日
- 27) Catheter Ablation and Medical Therapy for Atrial Fibrillation with HFrEF
 渡邊 敦之
 第85回日本循環器学会学術集会 2021年3月26日
- 28) Combination Treatment for Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
 下川原 裕人
 第85回日本循環器学会学術集会 2021年3月26日
- 29) What are differences in balloon pulmonary angioplasty for various causes of pulmonary hypertension (Speaker);Complex BPA cases in Okayama: How I treated
 Hiromi Matsubara
 ENCORE SEOUL 2020 2020年9月17日-18日

3. 講演

- 1) Intercontinental Pulmonary Vascular Disease Meeting 2
 松原 広己
 岡山医療センター 2020年6月11日
- 2) 慢性心不全治療の新たな可能性 WEB 配信
 宗政 充
 ホテルグランヴィア岡山 2020年6月24日
- 3) BPA Conference 2020 WEB 講演会
 松原 広己
 岡山医療センター 2020年9月11日
- 4) BPA 講演会 in 関東中央病院
 松原 広己
 関東中央病院 2020年9月24日
- 5) BPA International Conference WEB 2020
 松原 広己
 岡山医療センター 2020年12月11日
- 6) PAH management conference
 松原 広己
 ホテルグランヴィア岡山 2020年5月15日
- 7) PAH management conference
 松原 広己
 ホテルグランヴィア岡山 2020年5月31日
- 8) GSK PAH Management Conference 2020
 松原 広己
 ホテルグランヴィア岡山 2020年9月29日
- 9) サイエнтиフィックワークショップ・ミーティング
 松原 広己

- | | |
|---|-------------|
| ホテルグランヴィア岡山 | 2020年10月31日 |
| 10) 肺動脈高血圧症治療薬に関するヒアリング
松原 広己
岡山医療センター | 2020年12月25日 |
| 11) 第19回知って得する循環器学
宗政 充
岡山医療センター | 2020年11月19日 |
| 12) DES Conference in 岡山
宗政 充
岡山後樂園ホテル | 2020年10月8日 |
| 13) 第7回三浦半島肺高血圧症ミーティング
松原 広己
ホテルグランヴィア岡山 | 2020年9月23日 |
| 14) アデムス Web カンファレンス
松原 広己
ホテルグランヴィア岡山 | 2020年8月27日 |
| 15) 第5回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会ランチョンセミナー1
松原 広己
岡山医療センター | 2020年9月2日 |
| 16) アデムパス Focused Interview
松原 広己
岡山医療センター | 2020年10月7日 |
| 17) 20201021 PH TREATMENT LECTURE WEB カンファレンス
松原 広己
ホテルグランヴィア岡山 | 2020年10月21日 |
| 18) 20201027 CTEPH Update Meeting
松原 広己
岡山医療センター | 2020年10月27日 |
| 19) MEET THE EXPERT in kurashiki 2020
宗政 充
岡山後樂園ホテル | 2020年10月28日 |
| 20) 新潟肺高血圧症勉強会
松原 広己
岡山医療センター | 2020年11月6日 |
| 21) アデパス PH フォーラム
松原 広己
ヒルトン福岡シーホーク | 2020年11月7日 |
| 22) 第16回中四国肺高血圧症カンファレンス
松原 広己 | |

- | | |
|--|-------------|
| 岡山医療センター | 2020年11月28日 |
| 23) 第2回肺高血圧診断スキルアップセミナー
松原 広己
岡山医療センター | 2020年9月26日 |
| 24) エリキュース インターネット講演会
宗政 充
ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社岡山事務所 | 2020年12月2日 |
| 25) 第84回日本循環器学会学術集会ファイアサイドセミナー21(web)
松原 広己
岡山医療センター | 2020年7月29日 |
| 26) RePHrame global advisory board
松原 広己
岡山医療センター | 2020年9月11日 |
| 27) RePHrame global advisory board
松原 広己
岡山医療センター | 2020年9月15日 |
| 28) RePHrame global advisory board
松原 広己
岡山医療センター | 2020年9月17日 |
| 29) OPTIMA 試験を紹介する動画作成
松原 広己 | 2020年9月17日 |
| 30) 第5回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会ランチョンセミナーA
松原 広己
岡山医療センター | 2020年9月27日 |
| 31) RePHrame global advisory board
松原 広己
岡山医療センター | 2020年10月13日 |
| 32) Meet CTEPH and BPA Expert Forum(web)
下川原 裕人
岡山医療センター | 2020年7月18日 |
| 33) 御津医師会学術講演会
渡邊 敦之
リーセントカルチャーホテル | 2020年12月22日 |
| 34) 第2回 Abbott OCT Academy
田淵 勲
岡山医療センター | 2020年10月15日 |
| 35) PCSK9 Forum ~Evolocmab の適正使用と今後の可能性~
田淵 勲 | |

- TKP ガーデンシティ岡山 2020年11月4日
- 36) 心不全 Blue Jeans Forum
渡邊 敦之
岡山大学病院 2020年7月8日
- 37) 心不全 Blue Jeans Forum
重歳 正尚
岡山大学病院 2020年7月8日
- 38) 第7回岡山心不全カンファレンス
兼澤 弥咲
ホテルグランヴィア岡山 2020年10月29日
- 39) 御津医師会学術講演会
渡邊 敦之
リーセントカルチャーホテル 2020年12月2日
- 40) 御津医師会学術講演会
重歳 正尚
リーセントカルチャーホテル 2020年12月2日
- 41) 心不全診療スキルアップセミナー
重歳 正尚
ホテルグランヴィア岡山 2020年10月2日
- 42) 不整脈 Expert Meeting
渡邊 敦之
ホテルグランヴィア岡山 2020年12月7日
- 43) BPA Conference 2020 WEB 講演会
下川原 裕人
岡山医療センター 2020年9月11日
- 44) BPA Lecture in 西和医療センター
下川原 裕人
奈良県西和医療センター 2020年12月4日
- 45) 2020年度若手医師のための循環器セミナー冬季
渡邊 敦之
岡山プラザホテル 2020年11月14日
- 46) 第84回日本循環器学会学術集会ファイアサイドセミナー7
下川原 裕人
ホテルグランヴィア岡山 2020年7月27日
- 47) 心房細動*アブレーション*地域連携～より良い治療を追及する～
渡邊 敦之
シェラトングランドホテル広島 2020年8月26日
- 48) Scientific Exchange Meeting
渡邊 敦之

- ANA クラウンプラザホテル岡山 2020年9月27日
- 49) 心房細動 web 講演会
渡邊 敦之
- TKP ガーデンシティ岡山 2020年10月13日
- 50) アブレーション連携講演会
渡邊 敦之
岡山コンベンションセンター 2020年12月4日
- 51) Meet The Expert in KOKURA Vol.5
渡邊 敦之
岡山コンベンションセンター 2020年12月9日
- 52) Meet the Expert
渡邊 敦之
岡山医療センター 2020年12月13日
- 53) CRT Conversation with experts (Web)
渡邊 敦之
岡山医療センター 2020年6月25日
- 54) 国家公務員共済組合連合会呉共済病院 BPA 講演会
下川原 裕人
呉共済病院 2020年8月24日
- 55) Heart Failure Forum in OKAYAMA
渡邊 敦之
ホテルグランヴィア岡山 2020年10月9日
- 56) アデムス Web カンファレンス
下川原 裕人
岡山医療センター 2020年6月2日
- 57) Clinical Conference in Kyushu
下川原 裕人
岡山医療センター 2020年10月10日
- 58) 第 261 回岡山市医師会循環器疾患研究会
渡邊 敦之
岡山市医師会館 2020年10月27日
- 59) コロナ禍における心房細動患者との向き合い方～病診連携の工夫も踏まえて～
渡邊 敦之
TKP ガーデンシティ岡山 2020年11月11日
- 60) 御津エリア連携カンファレンス
渡邊 敦之
リーセントカルチャーホテル 2020年11月20日
- 61) 御津エリア連携カンファレンス
田淵 勲

- | | |
|--|-------------|
| リーセントカルチャーホテル | 2020年11月20日 |
| 62) 第6回 PH Conferencr with YoungDrs
下川原 裕人
岡山医療センター | 2020年11月21日 |
| 63) 第16回中四国肺高血圧症カンファレンス
宮城 文音
岡山医療センター | 2020年11月28日 |
| 64) Home Monitoring Management
渡邊 敦之
岡山医療センター | 2020年11月6日 |
| 65) Advancing Patient Management
渡邊 敦之
岡山医療センター | 2020年11月13日 |
| 66) エリキュースインターネット講演会
渡邊 敦之
ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社岡山事務所 | 2020年11月9日 |
| 67) PH Seminar in 福岡
下川原 裕人
ホテルグランヴィア岡山 | 2020年9月5日 |

● 診療科の特色

腎疾患にかかわる分野全般の診療を行います。検診での検尿や腎機能異常の精査、慢性腎臓病の診断やステージに応じた治療、急性腎障害の診断治療、透析導入(血液透析、腹膜透析)などです。また各種疾患(糖尿病、膠原病など)における腎臓の合併症の診療にもあたります。さらには、慢性透析患者の当院各科入院治療中の透析治療を行っています。また腎移植治療の術前管理や術後の長期管理など参画しています。

なおリウマチ膠原病診療は令和 2 年度からはリウマチ科として診療を行っています。下記のリウマチ膠原病は、腎病変をともない腎臓内科で診療した症例です。

診療担当は常勤医師 3 名、専攻医 1 名(卒後 5 年目)、ローテートの専攻医(卒後 3 年目)と初期研修医です。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 250 名

	疾患	患者数
1	慢性腎臓病(非透析、糖尿病以外)	60
2	慢性腎臓病(血液透析、糖尿病以外)	47
3	慢性糸球体腎炎	29
4	糖尿病性腎臓病(非透析)	25
5	糖尿病性腎臓病(血液透析)	24
6	リウマチ・膠原病	19
7	糖尿病性腎臓病(腹膜透析)	18
8	慢性腎臓病(腹膜透析、糖尿病以外)	16
9	ネフローゼ症候群	14
10	急性腎障害	8

死亡退院 8 例：消化管出血、敗血症、肺炎、非閉塞性腸管虚血、誤嚥性肺炎、高ナトリウム血症

2. その他

1) 検査

a) 腎生検施行(当科施行件数)44 例(延べ数)

IgA 腎症 12 例、腎硬化症 6 例、糖尿病性腎症 5 例、ANCA 関連血管炎 5 例、微小変化型ネフローゼ症候群 2 例、尿細管間質性腎炎 2 例、半月体形成性糸球体腎炎 1 例、IgA 血管炎 1 例、IgG4 関連腎症 1 例、血栓性微小血管障害症 1 例、アミロイドーシス 1 例、軽鎖沈着症 1 例、高血圧性腎障害 1 例、二次性巣状糸球体硬化症 1 例、悪性リンパ腫 1 例、骨髄腫腎 1 例、膜性腎症 1 例、その他 1 例

b) 腎生検診断

成人の腎生検組織(腎臓内科・腎移植外科など)の評価を臨床検査科・当該科と共に行っている。

2) 治療(入院治療患者数:新規開始ないし再開、患者ベースの例数)

- a) 慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、リウマチ膠原病
副腎皮質ステロイド 18 例、IgA 腎症扁桃腺摘出後ステロイドパルス 2 例、エンドキサン 3 例、生物学的製剤4例(ネフローゼ症候群 2 例、リウマチ膠原病 2 例)
 - b) 慢性腎臓病(CKD)患者診療
外来では透析や移植に至っていないすべてのステージの CKD 患者、入院では主に CKD ステージ G4~G5 患者の評価・治療・療法選択などを行っている。
 - c) 血液透析
7A 透析室にて入院患者のみを対象。月水金、午前・午後、火木土午前の計 3 クール。コンソール 5 台。通常 15 名受入可能。
1 クール定員 5 名で運用
令和 2 年度入院血液透析患者数 322 例(2020/4/1 時点の入院を含む)、のべ透析回数 2600 回(7A 透析センターにて。病室、CCU での血液透析は除く)。
(詳細は透析センターの頁をご参照ください)
 - d) 腹膜透析:外来患者 29 名。(そのうち PD/HD 併用は7名)
外来患者は専門外来にて管理しています。
導入 11 名、離脱なし(全例当院通院患者)
腹膜透析患者入院 23 名(導入、内科・外科治療など)
 - e) 腎臓病教室:令和2年度 1 回開催
新型コロナウイルス感染対策として縮小しての開催
 - f) リウマチ膠原病
血管炎症候群 6 名、リウマチ性多発筋痛症 1 名、IgG4 関連疾患 1 名
- 3) 教育
- a) 岡山大学臨床教授として、岡山大学医学部医学科の学生を受入れ指導。
令和2年度受け入れなし(新型コロナウイルス感染の影響)
 - b) 専攻医、初期研修医などの指導
 - c) 看護助産学校講師、病院実習中の看護学生サポート
- 4) 研究・治験
- a) 市販後調査全例報告
 - b) 当科にて
稀な症例の報告、少数例の後ろ向き検討など

● 研究業績

1. 論文発表

なし

2. 学会、研究会

- 1) 発症 2 年後に典型的な臨床像を呈し、治療中に高度の肝障害を合併した成人 Still 症の一例
梅川 剛
第 117 回 日本内科学会講演会 2020 年 8 月 8 日
- 2) 当院における初期研修医への腎臓内科の指導と支援
太田 康介

- 第 63 回 日本腎臓学会学術総会 2020 年 8 月 19 日
- 3) 肺腺癌に対し Gemcitabine による化学療法後、腎生検で薬剤性 TMA と診断した一例
渡邊慶太
- 第 50 回 日本腎臓学会西部学術大会 2020 年 10 月 16 日
- 4) lupus podocytopathy と考えた一例
近藤 瑛
- 第 123 回 中国地方会 2020 年 10 月 31 日
- 5) 卵黄管由来の遺残組織による腹膜透析カテーテル閉塞を来した一例
中納 弘幸
- 第 65 回 日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 2 日
- 6) 妊腎症候群にて血液透析導入時に繰り返す透析後の発熱からヘパリン起因性血小板減少症合併の
ナファモスタット過敏症が疑われた一例
中土井 崇人
- 第 65 回 日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 2 日

3. 講演

- 1) CKD と高カリウム血症の最新の話について
座長 太田 康介
御津医師会 Online 学術講演会 2020 年 9 月 7 日
- 2) 腎性貧血診療の現状と課題
太田 康介
腎性貧血 New Frontier 岡山 2020 年 10 月 13 日
- 3) 慢性腎臓病診療のこれから
太田 康介
御津医師会学術講演会 2020 年 11 月 6 日
- 4) 慢性腎臓病における高カリウム血症～最適な治療を目指して～
太田 康介
カリメート支店 Web カンファレンス 2020 年 11 月 13 日
- 5) 超高齢社会において慢性腎臓病をみる～全人的なサポートと合併症管理～
太田 康介
赤磐医師会学術講演会 2020 年 11 月 27 日
- 6) 慢性腎臓病と高血圧・貧血
太田 康介
第 5 回 おかやま腎と薬剤研究会 2020 年 12 月 11 日
- 7) 日常診療における腎性貧血治療～保存期慢性腎臓病患者でのアプローチ～
太田 康介
OKAYAMA Expert Lecture～CKD 医療の最前線～ 2021 年 1 月 15 日
- 8) 慢性腎臓病診療のポイント～最新の進歩を踏まえて～
太田 康介
和気医師会学術講演会 2021 年 1 月 27 日

- 9) 慢性腎臓病診療の新しい展開
太田 康介
第 493 回 福山地区内科会学術講演 2021 年 3 月 17 日
- 10) 全身を見据えた CKD-MBD 管理
北川 正史
腎疾患オンライン勉強会 2021 年 3 月 11 日
- 11) 意外と身近な多発性嚢胞腎 (ADPKD) ~その診断と治療
太田 康介
御津医師会 Web 学術講演会 2021 年 3 月 31 日
- 12) 第 3 回中国若手腎・糖尿病 CONFERENCE 世話人会
寺見 直人 北川 正史
協和キリン株式会社岡山営業所 2020 年 11 月 5 日
- 13) JSH2019 を踏まえた日本人に適した降圧治療
座長 太田 康介
第 79 回 岡山腎疾患懇話会 2020 年 10 月 10 日
- 14) SHPT 治療における静注型 Ca 受容体作動薬の可能性
座長 太田 康介
CKD-MBD オンライン学術講演会 2020 年 11 月 7 日
- 15) 統合移転で進化した岡山中央病院透析センター
座長 太田 康介
岡山市 CKD 医療連携の会 2021 年 3 月 3 日
4. その他
なし

● 診療科の特色

1. 脳・脊髄、末梢神経、筋肉の病気を内科的に診断・治療をしています。脳神経外科と共同で2019年10月より一次脳卒中センターの認定を受け、9A病棟にSCU4床を作り、rt-PA治療を含めた脳卒中急性期治療に対応しています。さらにパーキンソン病/パーキンソン症候群、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、重症筋無力症といった神経難病や認知症の診療治療(免疫グロブリン大量療法、免疫吸着療法含む)、脳炎・髄膜炎といった感染症、てんかん、ギラン・バレー症候群やCIDPの治療、眼瞼痙攣、顔面痙攣、痙性斜頸、痙縮に対するボトックス治療、PSG検査を導入しCPAPによる睡眠時無呼吸症候群の治療、痙性対麻痺に対するバクロフェン髄注療法、Reveal LINQを使った心房細動検出等を行っています。

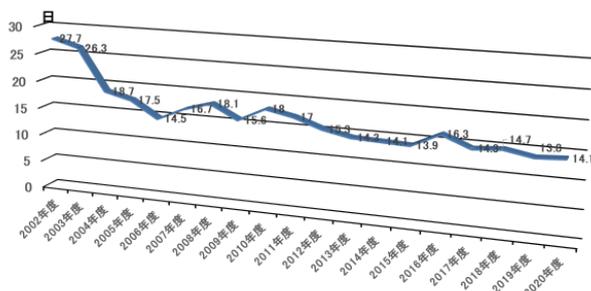
● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 468人

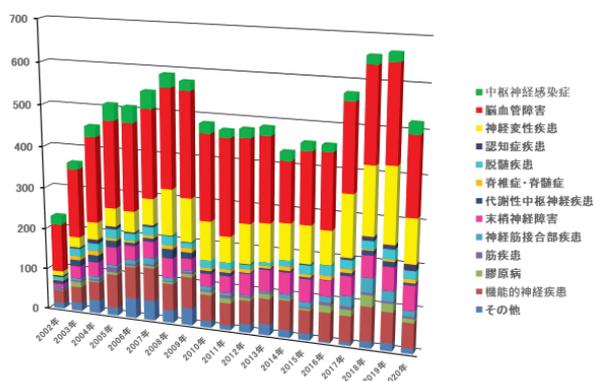
	疾患	患者数
1	脳卒中(脳出血、TIAを含む)	157
2	パーキンソン病/パーキンソン症候群	38
3	筋萎縮性側索硬化症	19
4	重症筋無力症	18
5	睡眠時無呼吸症候群	24
6	てんかん/症候性てんかん	26
7	髄膜炎/脳炎	19
8	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)/MMN	18
9	多発性硬化症/視神経脊髄炎	13
10	ギラン・バレー症候群	8

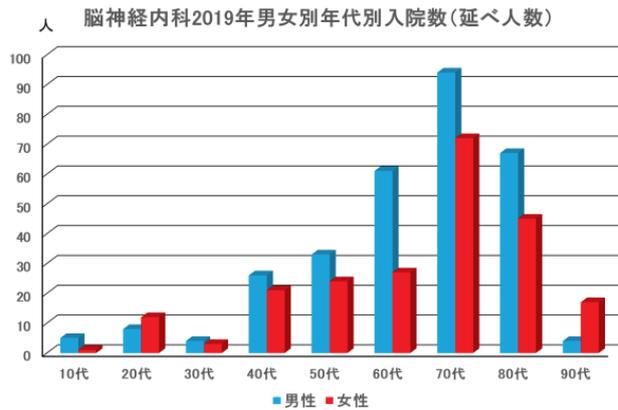
2. その他

脳神経内科平均在院日数



脳神経内科入院患者数(延べ人数)





● 研究業績

1. 論文発表

1) Fujiwara S, Manabe Y, Nakano Y, Omote Y, Yunoki T, Kono S, Narai H, Abe K

Two cases of probable Neuro-Behçet's disease with longitudinally extensive transverse myelitis
Case Rep Neurol 2020; 12: 13-17.

2. 学会、研究会

国際学会

2020.5.23-26

6th Congress of European Academy of Neurology (Web)

Nakano Y, Fujiwara S, Narai H, Manabe Y

Characteristics of 4 patients with AMCA associated vasculitis developing neurological symptoms at the onset

2020.11.7-9

World Stroke Congress 2020 (Web)

Fujiwara S, Nakano Y, Narai H, Manabe Y

Central nervous system involvement in eosinophil granulomatosis with polyangiitis

国内学会(全国大会)

1) 多発脳梗塞で発症し壊死性糸球体腎炎が急速に悪化した ANCA 関連血管炎の 1 例

中野由美子、藤原舜也、奈良井恒、真邊泰宏

第 45 回日本脳卒中学会学術大会(横浜)

2020 年 8 月 23 日-9 月 24 日

2) 視覚処理障害による純粋失読症を呈した側頭後頭葉脳塞栓症の 1 例

奈良井恒、藤原舜也、中野由美子、真邊泰宏

第 45 回日本脳卒中学会学術大会(横浜)

2020 年 8 月 23 日-9 月 24 日

3) 非弁膜症性心房細動患者において経口抗凝固療法中に発症した脳梗塞についての臨床的検討

真邊泰宏、藤原舜也、中野由美子、奈良井恒

第 45 回日本脳卒中学会学術大会(横浜)

2020 年 8 月 23 日-9 月 24 日

- 4) 当院で経験した神経症状で発症した ANCA 関連血管炎の 4 例
中野由美子、藤原舜也、奈良井恒、真邊泰宏
第 61 回日本神経学会学術大会(岡山) 2020 年 8 月 31 日-9 月 2 日
- 5) 裂脳症 3 症例の検討
奈良井恒、藤原舜也、中野由美子、真邊泰宏
第 61 回日本神経学会学術大会(岡山) 2020 年 8 月 31 日-9 月 2 日
- 6) 非弁膜症性心房細動患者において経口抗凝固療法中に発症した脳梗塞についての臨床的検討
真邊泰宏、藤原舜也、中野由美子、奈良井恒
第 61 回日本神経学会学術大会(岡山) 2020 年 8 月 31 日-9 月 2 日
- 7) 非弁膜症性心房細動患者において経口抗凝固薬使用中に発症した脳梗塞についての臨床的検討
真邊泰宏、藤原舜也、中野由美子、奈良井恒
第 74 回国立病院総合医学会(新潟) 2020 年 10 月 16 日-17 日
- 8) MR angiography で経時的変化を呈した産褥期に発症した脳梗塞の 2 例
中野由美子、高宮資宣、奈良井恒、真邊泰宏
第 46 回日本脳卒中学会学術大会(福岡) 2021 年 3 月 11 日-13 日
- 9) 脳卒中後てんかんの治療に関する臨床的検討
真邊泰宏、中野由美子、高宮資宣、奈良井恒
第 46 回日本脳卒中学会学術大会(福岡) 2021 年 3 月 11 日-13 日

地方会

- 10) 産褥期に発症した可逆性脳血管攣縮症候群の 2 例
鳥越大史、藤原舜也、中野由美子、奈良井恒、真邊泰宏
第 123 回日本内科学会中国地方会(島根) 2020 年 10 月 31 日
- 11) 急速進行性の感覚失調で発症した神経サルコイドーシスの 1 例
中野由美子、藤原舜也、神農陽子、奈良井恒、真邊泰宏
第 108 回日本神経学会中国・四国地方会(高松) 2020 年 12 月 5 日

研究会

- 12) 視覚処理障害による純粋失読症を呈した側頭後頭葉脳塞栓症の 1 例
藤原舜也、中野由美子、奈良井恒、真邊泰宏、平野一宏、山下翔、石原総一郎
第 19 回岡山脳卒中研究会(岡山) 2020 年 7 月 22 日
- 13) 視覚処理障害による純粋失読症を呈した側頭後頭葉脳塞栓症の 1 例
藤原舜也、中野由美子、奈良井恒、真邊泰宏、平野一宏、山下翔、石原総一郎
第 22 回中国四国脳卒中研究会(高知) 2020 年 9 月 5 日

3. 講演

- 1) 多発性硬化症および脊髄疾患
真邊泰宏
岡山大学 4 年次学生講義(岡山) 2020 年 6 月 5 日

- 2) 岡山てんかんオンラインカンファレンス
真邊 泰宏
TKP ガーデンシティ岡山 2020 年 9 月 30 日
- 3) パーキンソン病治療 in 岡山
真邊 泰宏
リーセントカルチャーホテル 2020 年 12 月 8 日
- 4) 岡山パーキンソン病 WEB 講演会
真邊 泰宏
ホテルグランヴィア岡山 2020 年 10 月 15 日
- 5) 第 19 回岡山脳卒中研究会 WEB セミナー
藤原 舜也
アークホテル岡山 2020 年 7 月 22 日
- 6) Neuroscience Web Conference in OKAYAMA
真邊 泰宏
リーセントカルチャーホテル 2020 年 11 月 26 日

● 診療科の特色

当院は国の政策医療としての成育医療の基幹病院であり、一般小児病棟は50床を有し、新生児病棟の50床と併せて100床の小児病棟を擁し、子ども病院に準ずる扱いで、岡山県内で唯一、国立成育医療センターをtopとする小児総合医療施設協議会に加盟を許されています。

小児科では高度専門医療と救急医療を2本柱として、あらゆる小児内科疾患に対応すべき体制を24時間整えています。年間新入院患者数は一般小児科だけで約2,000名であり、救急センターの年間受診者数は時間外選定療養費を徴収しているにも拘らず約7,000名で、救急での入院率は20～30%と非常に高率です。専門領域は多岐にわたります。内分泌領域では、成長ホルモン治療患者数は中四国1を誇っています。また、岡山市内で唯一小児の透析治療を担っており小児腎移植の術前術後に関わっています。その他、感染性疾患はもちろんのこと、アレルギー疾患、神経疾患、代謝疾患等を重点的にカバーしています。特に2020年度にはCOVID-19の流行もあり小児患者・小児濃厚接触者の入院治療に携わってきました。心臓疾患に関しては岡山大学から毎週、また小児整形に関しても旭川荘療育医療センターから毎月専門医が派遣されています。従って、臨床研修において、専門性の高い疾患から急性疾患に至るまで、その数、内容共に十分な症例を供給できます。また、教育にも力を入れており、月・水・金に入退院カンファがあり、木曜日には小児外科・新生児科と合同のカンファがあり、ここでは症例発表及びスタッフによるshort lectureがあります。更に抄読会・輪読会やフィルムカンファなども若手中心に行われています。週1回早朝に多職種による救急トレーニングも開催しています。岡山大学や他大学からの医学生実習も受け入れています。一方、定期的にセミオープン全国規模の救急研修会や成育研修会を開催しており、また当科主催で、県内若手勤務医のための勉強会も年2回開催していましたがCOVID-19の流行後にはwebカンファレンスの開催を試みています。もう一つ当院の特徴的なものとして臨床研究部の存在があります。当科は成育医療推進研究室に属しており、臨床研究を行うことができると共に、研究予算が得られます。

このように、臨床研修だけでなく、臨床研究に至るまで幅広い研修を受けることが可能です。国立病院機構ネットワークを通じて内地留学や、国外留学制度も取り入れています。後期研修においては年間約400名の新入院症例を有する新生児科と約800の手術件数を誇る小児外科における研修も含まれます。

● 入院診療実績

1. 2020年度 小児科疾患別一覧	ICD-10	患者数	死亡患者数
感染症および寄生虫症	A00-B99	93	0
新生物	C00-D48	8	0
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	13	0
内分泌、栄養および代謝疾患	E00-E90	130	0
精神および行動の障害	F00-F99	11	0
神経系の疾患	G00-G99	116	1
眼および付属器の疾患	H00-H59	3	0
耳および乳様突起の疾患	H60-H95	3	0

循環器系の疾患	I00-I99	4	0
呼吸器系の疾患	J00-J99	193	0
消化器系の疾患	K00-K93	35	1
皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	20	0
筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	53	0
腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	85	0
周産期に発生した病態	P00-P96	1	0
先天性奇形, 変形および染色体異常	Q00-Q99	15	0
症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	55	0
損傷, 中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	100	0
原因不明の新たな疾患	U00-U79	20	0
総 計		958	2

2. 特殊検査法		症例数	合併症の有無とその内容	死亡退院数
1	心エコー	1,059	なし	0
2	腎生検	6	なし	0
3	下垂体機能検査	75	なし	0
4	脳波	720	なし	0
5	経口負荷試験(食物アレルギー)	入院 62	なし	0
6	経口負荷試験(食物アレルギー)	外来 120	なし	0

3. 特殊治療法	症例数	処置合併症とその内容	長期予後
酵素補充療法	11	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅腹膜透析	4	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅酸素療法	36	肺 炎	QOL の向上、延命効果
栄養指導療法(外来)	80	特記事項無し	経口摂取制限解除
アレルギー児への 予防接種	20	特記事項無し	
在宅人工呼吸器	24	特記事項無し	QOL の向上、延命効果

4. 教育・研修	開催頻度		開催頻度
入退院カンファランス	3 回/週	合同カンファランス	1 回/週
部長・医長回診	2 回/週	輪読会	1 回/週
抄読会	1 回/週	レントゲンカンファランス	1 回/2 週
PALS に準じた多職種シミュレーション	1 回/週	レジデント症例検討会	1 回/2 週

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) 高張性脱水を伴う急性腎前性腎不全に引き続き、横紋筋融解症、DIC を合併した一例
村上美智子、清水順也、難波貴弘、浦田奈生子、井上拓志、久保俊英
日本小児腎不全学会雑誌 40 199-202 2020年7月31日
- 2) 発熱・腹痛の主訴から肺膿瘍と診断し、治療経過の評価に超音波検査が有用だった1小児例
服部真理子、清水順也、藤永祥子、高橋亨平、浦山建治、樋口洋介、片山寿夫、木村健秀、古城真秀子、金谷誠久、白神浩史、久保俊英
医療 74 8,9 369-373 2020年8月20日
- 3) 新生児期早期よりケトンフォーミュラの経管栄養を行っているピルビン酸脱水素酵素複合体(PDHC)欠損症の2小児例の臨床像
古城真秀子、井上拓志、竹内章人、中村信、影山操、木下真幸子
特殊ミルク情報 56 28-32 2021年2月21日

2. 学会、研究会

- 1) 急性膀胱炎を合併した、PD 管理中の OFD-1 異常の男児例
土屋弘樹(退職)、清水順也、他
第55回日本小児腎臓病学会学術集会 2021年1月8日
- 2) 非ステロイド系抗炎症剤の変更により臨床症状の変化をきたした I 型バーター症候群の小児例
川崎綾子、清水順也
第25回岡山小児腎雑談会 2020年11月11日
- 3) ファブリー病早期診断の重要性
古城真秀子
御津医師会学術講演会 2021年2月16日
- 4) A case of levetiracetam-responsive posttraumatic West syndrome
井上拓志
ISDEE 2020 Virtual Meeting 2020年6月19日
- 5) 深層学習を用いた骨年齢判定の試み
樋口洋介
第123回日本小児科学会学術集会 2020年8月21日
- 6) 深層学習モデルによる日本人小児骨年齢評価
樋口洋介
第93回日本内分泌学会学術集会 2020年6月4日
- 7) 肺血管内皮細胞を用いたインフルエンザ重症肺炎モデルの構築と high mobility group box 1 抗体による肺血管透過性亢進の抑制効果
難波 貴弘
第61回日本臨床ウイルス学会 2020年10月3日
- 8) 重症な貧血により輸血を要した Infantile Pyknocytosis の1例

難波 貴弘

第 72 回 中国四国小児科学会

2020 年 11 月 28 日

3. 講演

1) 岡山てんかんオンラインカンファレンス

井上 拓志

TKP ガーデンシティ岡

2020 年 9 月 30 日

2) ライソゾーム病研究会 in Kurashiki

古城 真秀子

倉敷ロイヤルアートホテル

2020 年 11 月 13 日

3) 第 72 回中国四国小児科学会共催セミナー

古城 真秀子

広島県医師会館

2020 年 11 月 29 日

● 診療科の特色

1. 平成 17 年度より産科とともに岡山県の総合周産期母子医療センターに認定され、名実ともに岡山県の周産期・新生児医療の中心的役割を担っており、新生児の総合内科として、関係各科、岡山大学病院との連携により、新生児のすべての疾患に対応している。
2. 認可された新生児集中治療室(neonatal intensive care unit: NICU)病床数は 18 床であり、中国四国地方で最大規模の NICU を運営している。
3. 新生児(日齢 28 未満)のみならず、異常を認めた胎児も診療対象である。
4. NICU での管理にとどまらず、妊娠中に異常に気づかれた母体・胎児や産科病棟の赤ちゃん(いわゆる正常新生児や在胎 35~36 週の Late preterm(後期早産)児)の診療・管理も、産褥病棟で行っている。
5. 当院はユニセフ・WHO より“赤ちゃんにやさしい病院、Baby Friendly Hospital(BFH)に認定された先進国第 1 号の病院である。産科病棟の赤ちゃんのみならず、NICU に入院された赤ちゃんについても積極的に母乳育児支援を行っており、出生体重 1000g 未満の超低出生体重児も退院時に 6 割以上が母乳のみ哺育されており、混合栄養を含めると 9 割以上が母乳哺育を継続している。
6. 2020 年度はコロナ禍のため面会縮小を余儀なくされたが、原則、NICU に入院した赤ちゃんの両親は 365 日 24 時間いつでも面会が可能で、加えて祖父母、全国的にはまだ実践施設が少ないきょうだい面会も積極的に行っている。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数

	2019 年度	2020 年度
年間新入院患者数	368	356
低出生体重児(出生体重 2500g 未満)	169	181
極低出生体重児(出生体重 1500g 未満)	43	40
超低出生体重児(出生体重 1000g 未満)	20	19
早産児(在胎 37 週未満)	126	134
超早産児(在胎 28 週未満)	13	18
新生児呼吸窮迫症候群	16	32
新生児低血糖	47	63
重症新生児仮死	17	18
先天性心疾患	22	27
未熟児動脈管開存症	10	14
多胎児	71	98
染色体異常症	7	11
人工呼吸管理/経鼻持続陽圧	32/54	50/62
動脈ライン/経皮的中心静脈カテーテル	27/60	41/70
一酸化窒素吸入療法/低体温療法	6/1	12/6

2. その他

1) 特に力を入れて取り組んでいる事項

- a) 超低出生体重児の後障害なき救命率の向上
- b) 新生児蘇生法普及事業(NCPR)
- c) 出生時仮死児の予後向上に向けた低体温療法の実施
- d) 家族にやさしいより良きファミリーケア、胎児期からのファミリーケア(プレネイタルビジット)
- e) NICU での「赤ちゃんにやさしい病院運動(Baby friendly hospital initiative: BFHI)」推進

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Jennifer A Sullivan, Nicholas Stong, Evan H Baugh, Marie T McDonald, Akihito Takeuchi, Vandana Shashi. A pathogenic variant in the SETBP1 hotspot results in a forme-fruste Schinzel-Giedion syndrome. American Journal of medical genetics (182) 1947–1951 2020.5.22
- 2) Kazue Nakamura, Naomi Matsumoto, Makoto Nakamura, Akihito Takeuchi, Misao Kageyama, Takashi Yorifuji. Exclusively Breastfeeding Modifies the Adverse Association of Late Preterm Birth and Gastrointestinal Infection: A Nationwide Birth Cohort Study. Breastfeeding Medicine. (15) 509–515. 2020.6.12
- 3) Kei Tamai, Takashi Yorifuji, Akihito Takeuchi, Yu Fukushima, Makoto Nakamura, Naomi Matsumoto, Yosuke Washio, Misao Kageyama, Hirokazu Tsukahara. Associations of Birth Weight for Gestational Age with Child Health and Neurodevelopment among Term Infants: A Nationwide Japanese Population-Based Study. The Journal of Pediatrics. (226) 135–141. 2020.7.5
- 4) Yu Saito, Kenta Matsumura, Misao Kageyama, Yuichi Kato, Eiji Ohta, Kiyooki Sumi, Takeshi Futatani, Taketoshi Yoshida. Impact of prematurity and the CTG repeat length on outcomes in congenital myotonic dystrophy. BMC Research Notes (13) 2020.7.23
- 5) Noriko Togashi, Teruyuki Ishikura, Makoto Kinoshita, Yusuke Mitani, Yonehiro Kanemura, Tsuyoshi Omi, Naoki Ando, Ayako Hattori, Shinji Saitoh, Yukihiro Kitai, Satori Hirai, Hiroshi Arai, Fumihiko Ishida, Hidetoshi Taniguchi, Yasuji Kitabatake, Keiichi Ozono, Shin Nabatame, Robert Smigiell, Mitsuhiko Kato, Koichi Tada, Yoshihiko Saito, Akihiko Ishiyama, Yushi Noguchi, Mazumi Miura, Takaaki Nakano, Keiko Hirano, Ryoko Honda, Ichiro Kuki, Jun-Ichi Takanashi, Akihito Takeuchi, Tatsuya Fukasawa, Chizuru Seiwa, Atsuko Harada, Yusuke Yachi, Hiroyuki Higashiyama, Hiroshi Terashima, Tadayuki Kumagai, Satoshi Hada, Yoshiichi Abe, Etsuko Miyagi, Yuri Uchiyama, Atsushi Fujita, Eri Imagawa, Yoshiteru Azuma, Kohei Hamanaka, Eriko Koshimizu, Satomi Mitsuhashi, Takeshi Mizuguchi, Atsushi Takata, Noriko Miyake, Yoshinori Tsurusaki, Hiroshi Doi, Mitsuko Nakashima, Hiroto Saito, Naomichi Matsumoto. Prenatal clinical manifestations in individuals with COL4A1/2 variants. Journal of Medical Genetics 2020.7.30
- 6) Satoshi Hamano Yamato, Shinji Nakamura, Yinmon Htun, Makoto Nakamura, Wataru Jinnai, Yasuhiro Nakao, Tsutomu Mitsuie, Kosuke Koyano, Takayuki Wakabayashi, Aya Hashimoto Morimoto, Masashiro Sugino, Takashi Iwase, Sonoko Ijichi Kondo, Saneyuki Yasuda, Masaki Ueno, Takanori Miki, Takashi Kusaka. Intravenous Edaravone plus Therapeutic Hypothermia Offers Limited Neuroprotection in the Hypoxic-Ischaemic Newborn Piglet. Neonatology (117) 713–720 2020.10.28
- 7) Katsuhiko Tada, Yasunari Miyagi, Kazue Nakamura, Moe Yorozu, Emi Fukushima, Kazumasa Kumazawa, Makoto Nakamura, Misao Kageyama. The Optimal Prepregnancy Body Mass Index for Lactation in Japanese

2. 学会、研究会

- 1) 解決すべき新たな超早産児の神経疾患 神経発達症
竹内 章人
第 123 回 日本小児科学会学術集会 2020 年 8 月 23 日
- 2) 日本における母乳育児率の推移と現状 21 世紀出生児縦断調査より像
中村 和恵
第 123 回 日本小児科学会学術集会 2020 年 8 月 23 日
- 3) Perinatal-Neonatal Management of COVID-19 in Japan
中村 信
Perinatal-Neonatal Management of COVID-19 Discussion Practice Guidelines 2020 年 5 月 19 日
- 4) An infant with persistent periventricular hyper-echogenicity with no other symptoms and radiographic abnormalities.
竹内 章人
International Symposium on the Pathophysiology of Developmental and Epileptic Encephalopathy.
2020 年 5 月 29 日

● 診療科の特色

1. 造血器腫瘍ならびにその他の血液疾患を診療。特にリンパ系悪性腫瘍の治療および血液疾患の造血幹細胞移植が中心。
2. 造血器腫瘍では急性・慢性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫など多剤併用化学療法、分子標的療法を行っている。
3. 造血幹細胞移植は平成 3 年より開始し、現在自家造血幹細胞移植は 253 例、同種造血幹細胞移植は 184 例、臍帯血移植は 18 例施行。
4. 当科の特徴として、非血縁者骨髄移植および非血縁者臍帯血移植の認定施設である。
5. 多発性骨髄腫の診療に関しては国内では中心的存在であり、分子標的療法や若年者に対しては積極的に造血幹細胞移植を行っている。

● 診療実績

1. 主要疾患年間入院患者数 新入院患者数 912 人

	疾患	患者数
1	急性骨髄性白血病	62
2	急性リンパ性白血病	20
3	慢性骨髄性白血病	6
4	慢性リンパ性白血病	8
5	悪性リンパ腫	370
6	多発性骨髄腫(形質細胞腫、白血病を含む)	116
7	骨髄異形成症候群	206
8	再生不良性貧血	4
9	特発性血小板減少性紫斑病	9
10	その他	111

2. 主要疾患年間新規患者数 138 人

疾患名(総数)		主要分類		症例数
1	急性骨髄性白血病(11)	WHO 分類	未分化型 AML	1
			分化型 AML	6
			骨髄異形成関連変化を伴う AML	1
			APL with t(15;17) and variants	2
			治療関連 AML	1
2	急性リンパ性白血病 (3)	WHO 分類	B-ALL	3
3	慢性骨髄性白血病 (4)	病期	慢性期	4

4	慢性骨髄単球性白血病 (1)	病期	慢性期	1
5	悪性リンパ腫(73)		MALT/MZL	7
			濾胞性リンパ腫	15
			びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	35
			マントル細胞リンパ腫	1
			ホジキンリンパ腫	5
			末梢性 T 細胞リンパ腫	3
			血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫	1
			ALK 陰性未分化大細胞リンパ腫	3
			血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫	1
			鼻型節外性 NK/T 細胞性リンパ腫	1
			成人 T 細胞性白血病リンパ腫・リンパ腫型	1
6	形質細胞腫瘍(22)		多発性骨髄腫(形質細胞腫、白血病を含む)	17
			MGUS	5
7	骨髄異形成症候群 (16)	WHO 分類	RCMD	5
			RARS	2
			RAEB- I	7
			RAEB- II	1
			単独 5q-を伴う MDS	1
8	再生不良性貧血 (1)			1
9	特発性血小板減少性紫斑病(7)			7

3. 造血幹細胞移植

2020 年度	血縁間 同種骨髄 移植	非血縁者 同種骨髄 移植	血縁間 同種末梢 血幹細胞 移植	自家末梢 血幹細胞 移植	臍帯血 移植	計
急性骨髄性白血病	0	0	0	0	1	1
慢性骨髄性白血病急性転化	0	0	1	0	0	1
悪性リンパ腫	0	0	0	2	0	2
多発性骨髄腫	0	0	0	2	0	2
再生不良性貧血	0	0	0	0	0	0
骨髄異形成症候群	0	0	0	0	1	1
AL アミロイドーシス	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	4	2	7

●研究業績

1.論文発表

- 1) S. Iida; K. Sunami; H. Minami; K. Hatake; R. Sekiguchi; K. Natsume; N. Ishikawa; M. Rinne; M. Taniwaki. A phase I, dose-escalation study of oral PIM447 in Japanese patients with relapsed and/or refractory multiple myeloma. *International Journal of Hematology*.p10.2021 Feb
- 2) T. Ishida; H. Kimura; S. Ozaki; K. Kubo; K. Sunami; N. Takezako; H. Fujita; T. Hayashi; T. Kiguchi; K. Ohashi; S. Yamamoto; H. Takamatsu; H. Kosugi; K. Ohta; R. Sakai; H. Handa; S. Kondo; Y. Abe; E. Omoto; K. Mitani; S. Morita; H. Murakami; K. Shimizu. Continuous lenalidomide treatment after bortezomib-melphalan-prednisolone therapy for newly diagnosed multiple myeloma. *Annals of Hematology*.99(5);1063-1072.2020 May
- 3) K. Miyazaki; N. Asano; T. Yamada; K. Miyawaki; R. Sakai; T. Igarashi; M. Nishikori; K. Ohata; K. Sunami; I. Yoshida; G. Yamamoto; N. Takahashi; M. Okamoto; H. Yano; Y. Nishimura; S. Tamaru; M. Nishikawa; K. Izutsu; T. Kinoshita; J. Suzumiya; K. Ohshima; K. Kato; N. Katayama; M. Yamaguchi. DA-EPOCH-R combined with high-dose methotrexate in patients with newly diagnosed stage II-IV CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma: a single-arm, open-label, phase II study. *Haematologica*.105(9):2308-2315.2020 Sep
- 4) K. Sunami; K. Matsue; K. Suzuki; N. Takezako; A. Shinagawa; S. Sakurai; H. Tamakoshi; T. Biyukov; T. Peluso; P. Richardson; Pomalidomide-bortezomib-dexamethasone in relapsed or refractory multiple myeloma: Japanese subset analysis of OPTIMISMM; *Cancer Sci*.111(6)2116-2122:2020 Jun
- 5) K. Sunami; H. Murakami; H. Tagashira; H. Ueda; T. Moriyama; T. Ishikawa; T. Yoshioka; M. Makita. Daratumumab therapy for relapsed or refractory multiple myeloma: a single-center retrospective study. *International Journal of Clinical Oncology*.25(12):2151-2157. 2020 Dec
- 6) K. Sunami; K. Suzuki; M. Ri; M. Matsumoto; C. Shimazaki; H. Asaoku; H. Shibayama; K. Ishizawa; H. Takamatsu; T. Ikeda; D. Maruyama; H. Kaneko; M. Uchiyama; T. Kiguchi; S. Iyama; H. Murakami; K. Takahashi; K. Tada; S. Macé; H. Guillemin-Paveau; S. Iida; Isatuximab monotherapy in relapsed/refractory multiple myeloma: A Japanese, multicenter, phase 1/2, safety and efficacy study; *Cancer Sci*.111(12):4526-4539.2020 Dec
- 7) K. Suzuki; K. Sunami; M. Matsumoto; A. Maki; F. Shimada; K. Suzuki; K. Shimizu; Phase II, Multicenter, Single-Arm, Open-Label Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Panobinostat in Combination with Bortezomib and Dexamethasone in Japanese Patients with Relapsed or Relapsed-and-Refractory Multiple Myeloma; *Acta Haematol*.1-11.2020 Dec
- 8) Y. Suzuki; T. Yano; Y. Suehiro; H. Iwasaki; M. Hidaka; M. Otsuka; K. Sunami; H. Ikeda; M. Sawamura; T. Ito; H. Iida; H. Nagai. Evaluation of prognosis following early disease progression in peripheral T-cell lymphoma; *International Journal of Hematology*.112(6):817-824.2020 Dec
- 9) N. Takezako; H. Kosugi; M. Matsumoto; S. Iida; T. Ishikawa; Y. Kondo; K. Ando; H. Miki; I. Matsumura; K. Sunami; T. Teshima; H. Iwasaki; Y. Onishi; M. Kizaki; K. Izutsu; D. Maruyama; K. Tobinai; R. Ghori; M. Farooqui; J. Liao; P. Marinello; K. Matsuda; Y. Koh; T. Shimamoto; K. Suzuki. Pembrolizumab plus lenalidomide and dexamethasone in treatment-naive multiple myeloma (KEYNOTE-185). subgroup analysis in Japanese patients; *International Journal of Hematology*.112(5):640-649.2020 Nob
- 10) S. Yamasaki; H. Iida; I. Yoshida; T. Komeno; M. Sawamura; M. Matsumoto; N. Sekiguchi; T. Hishita; K.

- Sunami; T. Shimomura; H. Takatsuki; S. Yoshida; M. Otsuka; T. Kato; Y. Kuroda; T. Ooyama; Y. Suzuki; K. Ohshima; H. Nagai; H. Iwasaki. Comparison of prognostic scores in transplant-ineligible patients with peripheral T-cell lymphoma not otherwise specified and angioimmunoblastic T-cell lymphoma: a retrospective study from the national hospital organization in Japan; *Leukemia & Lymphoma*.62(4):819-827.2021 Mar
- 11) A. Yokohama; Y. Okuyama; Y. Ueda; M. Itoh; S. I. Fujiwara; Y. Hasegawa; K. Nagai; K. Arakawa; K. Miyazaki; M. Makita; M. Watanabe; K. Ikeda; A. Tanaka; K. Fujino; M. Matsumoto; S. Makino; S. Kino; A. Takeshita; K. Muroi; Differences among hemoglobin thresholds for red blood cell transfusions in patients with hematological diseases in teaching hospitals: a real world data in Japan. *International Journal of Hematology*.112(4):535-543.2020 Oct
- 12) I. Yoshida; A. M. Saito; S. Tanaka; I. Choi; M. Hidaka; Y. Miyata; Y. Inoue; S. Yamasaki; T. Kagoo; H. Iida; H. Niimi; T. Komeno; C. Yoshida; F. Tajima; H. Yamamoto; K. Takase; H. Ueno; T. Shimomura; T. Sakai; Y. Nakashima; C. Yoshida; S. Kubonishi; K. Sunami; S. Yoshida; A. Sakurai; Y. Kaneko; Y. Miyazaki; H. Nagai. Intravenous itraconazole compared with liposomal amphotericin B as empirical antifungal therapy in patients with neutropaenia and persistent fever. *Mycoses*.63(8):794-801.2020 May
- 13) I. Yonese; C. Sakashita; K. I. Imadome; T. Kobayashi; M. Yamamoto; A. Sawada; Y. Ito; N. Fukuhara; A. Hirose; Y. Takeda; M. Makita; T. Endo; S. I. Kimura; M. Ishimura; O. Miura; S. Ohga; H. Kimura; S. Fujiwara; A. Arai. Nationwide survey of systemic chronic active EBV infection in Japan in accordance with the new WHO classification. *Blood Advances*.4(13):2918-2926.2020 Jul
- 14) 第Ⅲ賞 骨髄腫
角南一貴
造血機種用診療ガイドライン 2018年版補訂版 319p~382p 2020年5月25日
- 15) 多発性骨髄腫におけるプロテアソーム阻害薬と心血管有害事象
角南一貴
血液内科 764p~770p 2020年5月28日
- 16) 多発性骨髄腫 -開発中の薬剤に関する話題-
角南一貴
臨床血液 520p~527p 2020年5月30日
- 17) 5 初期治療 1)移植適応例に対する初期治療
角南一貴
多発性骨髄腫の診療指針 第5版 45p~48p 2020年9月26日
- 18) V. 多発性骨髄腫と関連疾患 8 多発性骨髄腫(MM)の合併症に対する治療
角南一貴
EBM 血液疾患の治療 419p~424p 2021年1月10日
- 19) 認知症がある特発性血小板減少性紫斑病に対してリツキシマブを投与し、早期にステロイド内服継続を回避できた1例
仁熊 七海, 石川 立則, 村上 裕之, 守山 喬史, 吉岡 尚徳, 牧田 雅典, 角南 一貴
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター一年報 335p~336p 2020年10月1日
- 20) 市販薬による薬剤性肝障害後に発症した再生不良性貧血の一例
近藤 瑛, 牧田 雅典, 守山 喬史, 村上 裕之, 石川 立則, 吉岡 尚徳, 角南 一貴, 永喜多 敬奈,

神農 陽子

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター一年報 328p-330p

2020年10月1日

2.学会・研究会

- 1) 未治療多発性骨髄腫に対する自家造血幹細胞移植の第2相試験(JSCT-MM14)
角南 一貴
第82回 日本血液学会 学術集会 2020年10月11日
- 2) 多発性骨髄腫における multiplex ligation-dependent probe amplification (MLPA)による細胞遺伝子学的解析
角南 一貴
第82回 日本血液学会 学術集会 2020年10月11日
- 3) 当院における多発性骨髄腫に対する自家移植の治療成績
守山 喬史
第43回 日本造血細胞移植学会総会 2021年3月5日
- 4) 再発マントル細胞リンパ腫に対して同種骨髄移植を施行し完全寛解を得た一例
近藤 瑛
第60回 日本血液学会 中国四国地方会 2021年3月13日
- 5) 微小変化型ネフローゼ症候群を合併した原発性マクログロブリン血症に対し B-R 療法を施行し両疾患ともに改善を認めた一例
安藤 翼
第60回 日本血液学会 中国四国地方会 2021年3月13日
- 6) びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫治療一年後に成人 T 細胞性白血病リンパ腫を発症した一例
近藤 花織
第60回 日本血液学会 中国四国地方会 2021年3月13日

3.講演

- 1) 岡山血液免疫 Webinar
角南 一貴
岡山医療センター 2021年2月1日
- 2) スタッフ向けカイクロリス Web セミナー
角南 一貴
岡山医療センター 2020年9月1日
- 3) 関門多発性骨髄腫セミナー
角南 一貴
岡山医療センター 2020年12月9日
- 4) アドバイザリー会議
角南 一貴
岡山医療センター 2020年7月18日
- 5) 多発性骨髄腫座談会
角南 一貴

- | | | |
|-----|--|-------------|
| | 岡山医療センター | 2020年7月18日 |
| 6) | MM Online
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年7月21日 |
| 7) | MM Online 収録集校閲
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年9月2日 |
| 8) | 多発性骨髄腫に関する最新の病態・治療に関する情報共有
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年9月4日 |
| 9) | サークリサ発売記念 WEB 講演会 高知
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年10月6日 |
| 10) | 第 82 回日本血液学会スポンサードセミナー
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年10月10日 |
| 11) | サークリサ発売記念 WEB 講演会 in 栃木
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年10月19日 |
| 12) | MM Interactive Zoom meeting by Sanofi
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年10月22日 |
| 13) | 第 27 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム ランチョンセミナー4
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年10月24日 |
| 14) | 岡山県多発性骨髄腫 Web 講演会
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年11月20日 |
| 15) | サークリサ発売記念講演会
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年11月21日 |
| 16) | サークリサ Online
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年12月15日 |
| 17) | Myeloma Seminar in 東海
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年12月1日 |
| 18) | Multiple Myeloma Web Seminar
角南 一貴
岡山医療センター | 2020年8月4日 |

- 19) 多発性骨髄腫に対する抗体薬とその使い分けについて
角南 一貴
2020年9月16日
- 20) デファイテリオ発売1周年記念 造血幹細胞移植フォーラム
角南 一貴
岡山医療センター
2020年9月19日
- 21) 血液疾患がんゲノム医療 Web Seminar
角南 一貴
岡山医療センター
2020年6月8日
- 22) KYMRIA NETWORK EVENT in Okayama
角南 一貴
岡山コンベンションセンター
2020年8月29日
- 23) エムプリシティ4周年記念 WEB セミナー
角南 一貴
岡山医療センター
2020年8月22日
- 24) Okayama IMiDs Web Seminar
角南 一貴
ホテルグランヴィア岡山
2020年11月5日
- 25) RRMM Nationwine Symposium-Pomalyst 5th anniversary-
角南 一貴
ホテル日航福岡
- 26) RRMM Nationwine Symposium-Pomalyst 5th anniversary-
角南 一貴
ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社
2020年11月14日
- 27) Multiple Myeloma Web Seminar
角南 一貴
岡山医療センター
2020年6月23日
- 28) Janssen Myeloma Forum -VR-
角南 一貴
ホテルグランヴィア岡山
2020年8月29日
- 29) DARZALEX WEB SEMINAR
角南 一貴
岡山医療センター
2020年9月11日
- 30) 座談会
角南 一貴
岡山医療センター
2020年9月13日
- 31) Nagoya Hematology Seminar 2020
角南 一貴
岡山医療センター
2020年9月15日
- 32) 第29回 ILYH 研究会

- 角南 一貴
岡山医療センター 2020年10月30日
- 33) MM small web meeting
角南 一貴
岡山医療センター 2020年11月30日
- 34) Lymphoma Conference in 岡山
植田 裕子
しゅうじつ薬局 2020年11月18日
- 35) BMF Case Conference in Okayama
吉岡 尚徳
ホテルグランヴィア岡山 2020年8月8日

● 診療科の特色

糖尿病治療アルゴリズムは低血糖リスクを減らし、体重増加を来さない治療薬の登場によって近年飛躍的に進歩し大きく変化しています。一方、超高齢化社会に突入した日本においてサルコペニア、フレイル、認知症といった新たな社会問題が生じ、予防、治療への対策が急務な課題として取り上げられています。

上記課題に関して、当科では糖尿病・脂質代謝、高血圧症を中心とした生活習慣病領域全般にわたって、外来および入院診療に取り組んでいます。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科医師、歯科衛生士など多くのスタッフが一体となって協力・連携し、患者様のセルフケアをサポートする「チーム医療」に力を入れて取り組んでいます。

具体的には持続血糖測定 (CGM : continuous glucose monitoring)、FGM (flash glucose monitoring)、パーソナル CGM 機能を搭載したインスリンポンプ療法 (SAP: sensor augmented pump) などを積極的に導入し、低血糖予防、血糖変動推移の「見える化」を図ることによって、患者様が安心・納得して最新の医療を受けて頂けるよう努めています。

さらに、グルコースクランプやインピーダンス法・DEXA 法による体組成計測検査器機を用いてインスリン感受性・抵抗性の評価を行い、グルカゴン負荷試験、食事負荷試験を用いて内因性インスリン分泌能の評価、握力、歩行速度、開眼片足立ち時間の計測によるフレイル、サルコペニアの評価、DASC-8、MMSE を用いて認知・生活機能、高齢者の血糖コントロール目標設定のためのカテゴリ分類を評価することによって患者様個々の病態に即した適切な治療を行っています。

フットケア外来では、皮膚科、形成外科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科とフットケアユニットを形成し、足切断ハイリスク患者の予防的ケアから潰瘍治療まで行っています。

2017年10月より、当科では甲状腺・内分泌疾患の診療も開始しており、今年度はおよそ520名の診療にあたっています。甲状腺疾患としてバセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)、亜急性甲状腺炎、甲状腺腫瘍などの診療を行っております。甲状腺超音波検査は年間約290例を自科で施行しています。超音波ガイド下の穿刺細胞診も施行可能です。

バセドウ病の治療には内服療法・手術療法・アイソトープ療法があります。当科では内服療法のほかにアイソトープ治療(¹³¹I 内照射)も対応可能です(2020年度は外来で1例施行)。手術療法の適応となる患者様については乳腺・甲状腺外科に院内紹介し連携で治療を行っています。患者様ひとりひとりに最適と思われる方法を提案しています。

ほか、下垂体疾患(下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症など)、副甲状腺疾患(原発性副甲状腺機能亢進症・低下症など)、副腎疾患(原発性アルドステロン症、副腎性クッシング症候群、褐色細胞腫など)をはじめとした内分泌疾患全般にわたり診療しています。原発性アルドステロン症精査に必要な副腎静脈サンプリングは放射線科と連携して行っています。

低血糖症の診療においては糖代謝の観点と内分泌の観点からの病態把握・鑑別診断が必要です。当科では各種負荷試験や画像検査を行い、インスリンノーマなどが疑われる場合には放射線科と連携でASVS(選択的カルシウム動注後肝静脈サンプリング)を施行し精査を行っています。

常時10~15名/日の糖尿病教育入院患者がいますが、外科手術の周術期や化学療法中の免疫抑制状態、さらに、妊娠管理を要するハイリスクな他科入院患者の血糖管理も月80~100名とかなりの症例数を誇っており、糖尿病学会認定教育施設として豊富な症例を経験でき、質・量ともに充実した研修を行う事

ができます。また学会発表、論文投稿も積極的に行っています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数

新入院患者数 214 人

疾患	患者数
2 型糖尿病	135
1 型糖尿病(うち緩徐進行 1 型 7 名、妊娠合併 2 名)	19
糖尿病性腎症	8
糖尿病性ケトアシドーシス	2
高血糖高浸透圧症候群	4
糖尿病性ケトーシス	7
低血糖症	6
シックデイ	1
妊娠糖尿病	1
ステロイド糖尿病	1
糖尿病性足壊疽	1
甲状腺・内分泌疾患	16
その他	13

なお、「甲状腺・内分泌疾患」には低ナトリウム血症 2 名、バセドウ病・甲状腺機能亢進症 5 名(うち甲状腺クリーゼ 4 名)、原発性アルドステロン症 1 名、原発性副甲状腺機能亢進症 1 名、高カリウム血症 2 名、低カルシウム血症 1 名、副腎クリーゼ 2 名、甲状腺機能低下症 1 名、中枢性尿崩症 1 名を含む。

2. 教育入院関連諸実績

自己注射指導	合計	143
	うち新規導入	71
自己血糖測定指導	合計	117
	うち新規導入	60
糖尿病教室参加 ※	カンバセーションマップ参加	9
	バイキング参加	10
	両方	7
CSII	のべ入院 CSII 患者	6
	うち新規導入	2
	うち SAP 導入	2
持続血糖モニター装着	フリースタイルリブレ装着	20
	SAP 導入	1

※新型コロナウイルス感染対策のため、2020/4/24 以降は中止

3. フットケア外来実績: 患者 6 名、のべ 26 回、うち新規患者 1 名

● 研究業績

1. 学会、研究会

- 1) 自己免疫性多内分泌腺症候群 3 型に抗 GAD 抗体陽性の自己免疫性小脳失調症を合併した一例
合田 百花
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 2) コントロール不良の 2 型糖尿病に右足ガス壊疽と肝膿瘍を併発した一例
前田 恵実
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 3) 2 型糖尿病の治療経過中に自己免疫性膵炎を発症した一例
的場 將城
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 4) 自殺企図のインスリン大量投与で重症低血糖を来し緊急血液透析により改善を認めた一例
山岡 主知
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 5) てんかんの診断で加療されていたインスリノーマの一例
栗林 怜実
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 6) クロピドグレル内服により生じたインスリン自己免疫症候群の一例
田原 稔久
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日

2. 講演

- 1) ソリクア Webinar
武田 昌也
TKP ガーデンシティ岡山 2020 年 11 月 26 日
- 2) SOLIQUA 発売記念講演会
武田 昌也
ANA クラウンプラザホテル岡山 2020 年 12 月 9 日

● 診療科の特色

1. 受診すべき科がわからないときに内科初診外来として専門科へつないでいます。
2. プライマリ・ケア領域の急性疾患については当科で診断治療させていただいています。
3. 科を越えて横断的な対応が必要な患者さんや診断がつかないまま症状が窮迫している患者さんの入院主科として治療や療養にあたっています。
4. 感染症科と協力し適正な感染症治療の実現を目指しています。
5. 研修医の診療の基礎を築く手助けになるよう指導をこころがけています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 387 人(転科患者を除く)

	疾患	患者数
1	誤嚥性肺炎	80
2	急性腎盂腎炎	44
3	尿路感染症	21
4	細菌性肺炎	20
5	敗血症	16

入院患者は高齢者が多く、誤嚥性肺炎を含めた肺炎と腎盂腎炎や尿路感染症が入院疾患の約半分を占めていました。これらの入院層は、背景疾患を多く持ち、看護や介護の比重が高く、福祉への連携が必要となることがままあります。関係他科や他職種の協力をいただくことがスムーズな退院の実現には欠かせません。

● 研究業績

1. 学会、研究会

- 1) S. Kawamura; T. Kubo; K. Takada; R. Sunami; S. Okawa; Y. Iwamoto; A. Hirabae; A. Taniguchi; Y. Maeda; K. Kiura; M. Tabata; A case of interstitial pneumonia associated with systemic sclerosis and primary peritoneal serous carcinoma successfully treated with cyclophosphamide; International Cancer Conference Journal.4. 2020
- 2) サルモネラ属菌による胸椎化脊椎炎の1例
近藤 花織
第123回 日本内科学会中国地方会 2020年10月31日
- 3) 血球貪食症候群を呈し、救命困難であった重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の1例
田中 慎太郎
日本内科学会 中国地方会 2020年10月31日

● 診療科の特色

1. 院内診療(コンサルテーション・リエゾン精神医学、サイコオンコロジー)

- 1) 精神科は医師数が少ないため入院患者様の治療を優先的に行っている。身体疾患の入院治療中に生じる様々な精神的トラブル(強い不安、抑うつ、せん妄など)に対して専門的な診察・合理的薬物療法・精神療法を行っており、担当スタッフと連携して、患者様とご家族の生活の質の改善を支援している。
- 2) 当院の緩和ケアチームの精神腫瘍学(サイコオンコロジー)担当医として、悪性疾患の入院患者様の精神症状緩和に注力している。
- 3) 従来から精神疾患(統合失調症・躁うつ病・うつ病・アルコール使用障害・ストレス障害など)で治療中の患者様が、身体の病気のため当院への入院が必要になった場合において、精神科治療が途切れしてしまうよう、通院先の主治医と連携して継続診療にあたっている。

2. 外来診療(一般成人臨床精神医学)

メンタル面の不調は多くの方が抱える身近な問題である。当科では、うつ病・不安症などを中心に多様な精神疾患に対する診療を行っている。基本は一般精神科外来であり、専門外来(児童思春期外来・重度摂食障害・認知行動療法・家族療法・精神分析など)は行っていない。なお、当院は急性期病院であり、常勤精神科医師が1名であるため、精神科診療においては外来を二義的、再診中心としており、このため院外からの精神科初診を休止している。

● 入院診療実績

当院には精神科の入院病床および病棟がないので、入院診療実績はない。なお、精神科入院が必要と判断される患者様には適切な精神科病院への紹介を行っている。

● 研究業績

なし

● 診療科の特色

1. 上部消化器、下部消化器、胆膵内視鏡を中心に、消化器疾患全般を診療している。
2. 上下部内視鏡において、腫瘍の早期発見、範囲同定を拡大観察や特殊光を用いた狭帯光観察(NBA)で行っている。
3. 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を用いた、消化管の早期癌に対する内視鏡的治療に力を入れている。
4. ダブルバルーン小腸内視鏡、小腸カプセル内視鏡の両方を導入しており、多彩な小腸疾患にも対応可能である。
5. B型肝炎・C型肝炎治療、ラジオ焼灼治療、肝動脈塞栓術を用いた、肝疾患の治療も積極的に行っている。
6. 各消化器癌に対する積極的な化学療法を入院および外来にて行っている。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 872人

	疾患	患者数
1	大腸ポリープ・直腸ポリープ・大腸腺腫・直腸腺腫	254
2	大腸癌・直腸癌	118
3	胃癌	187
4	胆石性胆管炎・胆石性胆のう炎・総胆管結石	60
5	食道癌	29
6	結腸憩室・憩室炎・憩室出血	39
7	膵癌	81
7	急性膵炎	17
9	胆管癌	36
10	イレウス・腸閉塞	51

2. その他

1) 特殊検査法

	特殊検査法	症例数	合併症の有無	死亡退院数
1	上部消化管内視鏡検査	2,615	なし	0
2	下部消化管内視鏡検査	1,358	なし	0
3	胆膵内視鏡検査	255	なし	0
4	カプセル内視鏡(小腸・大腸)	35	なし	0
5	ダブルバルーン小腸内視鏡	37	なし	0

2) 特殊治療法

特殊治療法別	処置合併症とその内容	症例数
内視鏡的	食道 ESD	8
	胃 ESD	73
	大腸 ESD	31
	胃 EMR	6
	十二指腸 EMR	3
	大腸 EMR	187
	EUS 専用	33
	EUS ブローベ	42
	FNA	29
	ERBD	108
	EST・碎石	71
化学療法	下咽頭癌	4
	食道癌	6
	胃癌	46
	胃間葉系腫瘍	3
	小腸癌	12
	結腸・直腸	117
	肛門管癌	5
	肝細胞癌	3
	胆道癌	12
	膵癌	18
	原発不明癌	4
インターベンション	腹部血管造影・塞栓術	13

3) 研修、教育

	開催頻度
消化器内視鏡カンファレンス	4 回／月
消化器症例カンファレンス	4 回／月
消化器・放射線科・外科合同カンファレンス	4 回／月
地域合同 ESD カンファレンス	1 回／月
抄読会	4 回／月
モーニングカンファレンス	20 回／月
その他	

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) T. Mannami; N. Fujiwara; G. Ikeda; T. Wakatsuki; Y. Fukumoto; S. Furutachi; S. Shimizu; Esophageal anisakiasis observed using magnifying endoscopy with narrow-band imaging; Endoscopy;53(3)83-84;2020 Jun
- 2) K. Migita; M. Nakamura; Y. Aiba; H. Kozuru; S. Abiru; A. Komori; Y. Fujita; J. Temmoku; T. Asano; S. Sato; M. Furuya; A. Naganuma; K. Yoshizawa; M. Shimada; K. Ario; T. Mannami; H. Kohno; T. Kaneyoshi; T. Komura; H. Ohira; H. Yatsunashi; Association of soluble T cell immunoglobulin domain and mucin-3 (sTIM-3) and mac-2 binding protein glycosylation isomer (M2BPGi) in patients with autoimmune hepatitis; Plos One;15(12)15;2020 Dec
- 3) M. Maeda; I. Saeki; I. Sakaida; H. Aikata; Y. Araki; C. Ogawa; K. Kariyama; K. Nouse; M. Kitamoto; H. Kobashi; S. Sato; H. Shibata; K. Joko; S. Takaki; H. Takabatake; A. Tsutsui; K. Takaguchi; T. Tomonari; S. Nakamura; T. Nagahara; A. Hiraoka; T. Matono; M. Koda; M. Mandai; T. Mannami; A. Mitsuda; T. Moriya; K. Yabushita; J. Tani; T. Yagi; T. Yamasaki; Complications after Radiofrequency Ablation for Hepatocellular Carcinoma: A Multicenter Study Involving 9,411 Japanese Patients; Liver Cancer;9(1)50-62;2020 Jan
- 4) 不整な微小血管構築像が範囲診断に有用であった除菌後胃癌の1例
福本 康史, 万波 智彦, 若槻 俊之, 古立 真一, 清水 慎一
臨牀消化器内科 35 7 767~771 2020年6月20日
- 5) 【上部消化管の偽陰性癌-その癌見逃していませんか?】除菌後胃癌発見のコツ 見つけにくい
除菌後胃癌はここに注目!
若槻 俊之, 万波 智彦
消化器内科 2 7 69-75 2020年7月1日

2. 学会、研究

- 1) 肝腫瘍の一例
城本 真佑 (改姓 光宗)
2 月度 岡山消化器談話会 2020年2月18日
- 2) 肝腫瘍の一例
平岡 悠飛
2 月度 岡山消化器談話会 2020年2月18日
- 3) 当院における胃底腺型胃癌の検討
万波 智彦
2 月度 岡山消化器談話会 2020年2月18日
- 4) 拡大内視鏡画像の検討および病理対比について その1
若槻 俊之
第2回奈良拡大内視鏡研究会 2020年10月17日
- 5) 胃癌症例(2例)
若槻 俊之
岡山県医師会消化管検診研究会講演会-症例検討会- 2020年9月5日

- 6) 胃癌の深達度診断と治療(PPI加療も含めて)&症例を味わい尽くすための対比
若槻 俊之
四国内視鏡カンファレンス 2020年12月9日
- 7) 治療方針に悩んだ胃病変の1例
光宗 真佑
四国内視鏡カンファレンス 2020年12月9日
- 8) 拡大内視鏡画像の検討および病理対比について その3
若槻 俊之
第5回 京都拡大内視鏡研究会 2021年3月13日
- 9) 早期胃癌の基本的読影方法
若槻 俊之
第5回 newHERO 研究会 2021年4月10日
- 10) 胃癌スクリーニングとしての NBI 併用拡大内視鏡の位置づけ
古立 真一
第106回日本消化器病学会総会 2020年8月11日
- 11) 腓仮性嚢胞に合併した左胃動脈仮性動脈瘤破裂
梅川 剛
内科レジデントカンファレンス 2021 in Okayama 2021年2月27日
- 12) 二次性大動脈十二指腸瘻の1例
佐柿 司
第125回日本消化器内視鏡学会中国支部例会※WEB開催 2020年12月5日
- 13) 胃病変の1例
福本 康史
岡山県医師会 消化管精検研究会 2020年11月25日
- 14) 上部消化管出血に対する緊急内視鏡の現状と改善点
若槻 俊之
内視鏡学会総会 2020年9月2日
- 15) 早期胃癌の基本的読影方法
若槻 俊之
第3回 newHERO 研究会 2020年7月11日
- 16) 胃病変の1例
若槻 俊之
第3回 newHERO 研究会 2020年7月11日
- 17) 胃癌の深達度診断について
若槻 俊之
岡山県医師会消化管検診研究会講演会 2020年9月5日
- 18) 胃 MALT リンパ腫の1例
若槻 俊之
奈良拡大内視鏡研究会 2020年10月17日

- 19) 質的診断に苦慮した胃病変の1例
 若槻 俊之
 Salon de Taverna 2021年1月8日
- 20) 内視鏡像と病理組織像の対比
 若槻 俊之
 京都拡大内視鏡研究会 2021年3月13日
- 21) 医学講習会 消化器内視鏡技師認定試験対策講座
 清水 慎一
 岡山県内視鏡技師会 2021年3月14日
- 22) 緊急内視鏡の要否をより正確に予測するための症例
 若槻 俊之
 内視鏡学会総会 2020年5月16日
- 23) 好酸球性食道炎(EoE)に対する上部消化管内視鏡検査(EGD)中に食道粘膜裂創を来した一
 例
 平岡 悠飛
 岡山医療センター年報 2020年10月1日
- 24) 腭仮性嚢胞に左胃動脈仮性動脈瘤破裂を合併し胃内出血を来した1例
 城本 真佑 (改姓 光宗)
 岡山医療センター年報 2020年10月1日
- 25) ワーファリン内服継続中患者の経直腸的前立腺針生検による直腸動脈性出血の1例
 白石 裕雅
 114回日本消化病学会中国支部プログラム・抄録集 2020年12月5日
- 26) 膵管ステント留置術と膵仮性嚢胞の経皮的ドレナージ術により手術を回避し得た外傷性膵損傷
 の1例
 永原 華子
 114回日本消化病学会中国支部プログラム・抄録集 2020年12月5日
- 27) ソナゾイド造影超音波検査により正確な病変評価と肝生検を施行することができた肝サルコイド
 ーシスの1例
 光宗 真佑
 114回日本消化病学会中国支部プログラム・抄録集 2020年12月5日
- 28) 緊急内視鏡の要否をより正確に予測するための試み
 若槻 俊之
 第99回日本消化器内視鏡学会総会 2020年9月2日
- 29) 大腸がんについて
 万波 智彦
 2020年度 第1回岡山県がん相談支援センター相談員研修 2020年12月16日
- 30) 胃隆起性病変の一例
 万波 智彦
 第24回九州胃拡大内視鏡研究会 2021年2月13日

31) 表在食道癌の近傍に併存した食道黄色腫の一例

佐柿 司

早期胃癌研究会3月度例会

2021年3月17日

3. 講演

1) 岡山慢性便秘セミナー

万波 智彦

ホテルメルパルク岡山

2020年12月23日

2) 四国内視鏡カンファレンス

若槻 俊之 光宗 真佑

岡山医療センター

2020年12月9日

3) 第2回奈良拡大内視鏡研究会

若槻 俊之

岡山医療センター

2020年10月17日

● 診療科の特色

緩和ケアとは、重い病気を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアであり、多職種から成る緩和ケアチームでのアプローチを原則とします。

当院でも 2006 年から緩和ケアチームが活動していますが(緩和ケア推進室)、2016 年 4 月から緩和ケア専従医師による緩和ケア内科の診療が開始されました。

- ・がん患者のみならず、非がん患者の疼痛等にも対応します。
- ・外来では、がん治療中の方、身体症状の緩和が必要な方を対象に、予約制で診療を行います。
- ・当院の入院患者であって緩和ケアが必要と判断された方については、主治医からの紹介を受け、原則として緩和ケアチームで介入します。主治医と連携を取りながら身体症状の緩和を行い、また、症状や相談内容に応じて専門職種と連携して症状緩和や QOL の向上を図ります。

● 入院診療実績

当院には緩和ケア病棟及び症状緩和専用の病床が無いため、治療主科の入院患者への介入により診療を行っています。

身体症状の緩和を依頼された患者の主な症状(緩和ケアチームの介入は緩和ケア対策室に掲載)

	疾患	患者数
1	がん性疼痛	63
2	気持ちのつらさ	55
3	嘔気、食欲不振	25
4	呼吸困難感	18
5	非がん性疼痛(慢性疼痛)	15
6	全身倦怠感	14
6	腹部膨満感	14
8	せん妄	13
9	終末期ケア	9
10	不安	8

● 研究業績

1. 学会

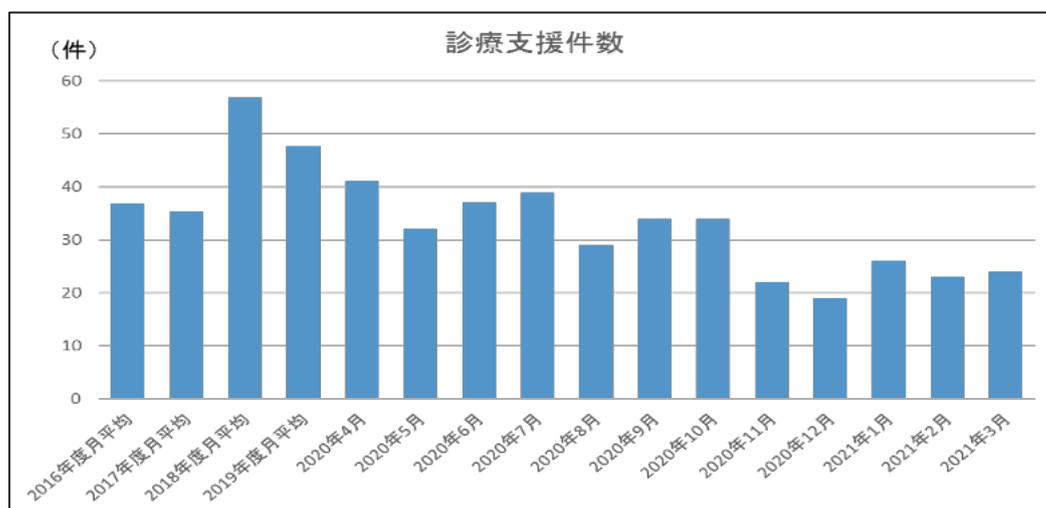
- 1) 岡山医療センターにおける「気持ちのつらさ」のスクリーニングと緩和ケアチーム介入の現状と課題
宮武和代、藤原慶一、岸口武寛、市由美子、田頭尚士、三嶋美穂、黒原かおり、高淵陽子、松尾敬子、熱田幸子、中西初実、池内克馬、宮下広大
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020、第 25 回日本緩和医療学会学術大会

2020 年 8 月 9 日

● 診療科の特色

当センターに入院中または受診された患者さんを対象に各診療科の先生方から感染症(疑い)の診断や治療についての相談を受けたりアドバイスを行ったりする「感染症診療支援活動」を中心に、薬剤耐性菌拡大防止などを担う「感染対策」、学生や研修医等への感染症教育などの「教育活動」に携わっている。

1. 診療実績 2020年度の診療支援件数は計360件であった。月別推移を図に示す。診療支援内容は感染症(疑い)に対する診断や治療が大多数で、その他検査や感染対策の相談があった。院内の診療科からすべてから相談を受けた。



2. 感染症教育

内科専門医研修プログラムにおいて、1ヶ月間感染症内科を選択した8人の専攻医の教育に関わった。

● 研究業績

1. 学会、研究会

1)セファゾリン供給停止に伴う影響

齋藤 崇、原 清美、溝内育子、佐藤未来、若狭愛子、向井 基修

第74回国立病院総合医学会

2020年10月17日

2. 論文発表

1)ヒックマンカテーテルのインジェクションキャップが感染していた、Rhizobium radiobacter による持続菌血症の1例

山田 晴士, 齋藤 崇, 牧田 雅典, 柴山 卓夫

感染症学雑誌 94 巻 3 号 Page321-324

2020年5月20日

●診療科の特色

1. 各消化器癌に対する最新かつ効果的な治療を行う。
2. エビデンスに基づいた治療を基本にするとともに、最新の臨床試験にも参加して患者に最も適した治療を選択する。
3. EBM 推進のための大基幹臨床研究(医師主導治験)の準備が整ったため、今年度中に開始する。
4. 希少腫瘍治療にも特に力を入れて、診療を行っている。
5. がんゲノム医療を積極的に推進し、患者に最適な治療方法を検討している。

●入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 38 名

	疾患	患者数
1	大腸癌	10
2	大腸ポリープ	8
3	肝臓癌	5
4	胃癌	3
5	小腸癌・FAP・PBC・原発不明癌	2

●研究実績

1. 論文発表

- 1) A. Hosokawa; K. Yamazaki; C. Matsuda; S. Ueda; H. Kusaba; S. Okamura; M. Tsuda; T. Tamura; K. Shinozaki; T. Tsushima; T. Tsuda; T. Shirakawa; H. Yamashita; S. Morita; S. Hironaka; K. Muro; A. Hosokawa; K. Yamazaki; C. Matsuda; S. Ueda; H. Kusaba; S. Okamura; M. Tsuda; T. Tamura; K. Shinozaki; T. Tsushima; T. Tsuda; T. Shirakawa; H. Yamashita; S. Morita; S. Hironaka; K. Muro. *Medicine*.99(36); 7. 2021 Mar
- 2) Toshio Kuwai , Takuya Yamada , Tatsuya Toyokawa , Tomohiro Kudo , Naoki Esaka , Hajime Ohta , Haruhiro Yamashita , Yasuo Hosoda , Noriko Watanabe & Naohiko Harada. Endoscopic resection of local recurrences of diminutive polyps by cold forceps polypectomy. *Scandinavian Journal of Gastroenterology*. <https://doi.org/10.1080/00365521.2020.1869821> Published online: 14 Jan 2021.

●診療科紹介

令和2年4月に関節リウマチや膠原病を内科的に診療する科としてリウマチ科を開設した。外来や入院での診療を行う。従来から同領域は総合診療科、腎臓内科などで行われていたが、標榜化にて患者のアクセス改善、院内外との連携が強化されることを目標とした。

●主な診療内容

<治療>

副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤などの内科治療。

<外来>

週2回リウマチ科の外来(一枠は腎臓内科と同時)。

病診連携行う(病状が落ち着いている患者はかかりつけ医と連携)。

<入院>

入院治療が必要な場合は、当科などで治療。入院時の主治医以外の担当医として腎臓内科医があたり場合あり。

●スタッフ

医師 太田康介 (診療部長、腎臓内科と兼任)

●実績(令和2年度)

<外来>通院患者 88 例 (令和2年度末患者数、一部の腎病変合併例は除く)

関節リウマチ	43 例
全身性エリテマトーデス	4 例
強皮症(全身性、限定性)	7 例
多発筋炎	1 例
シェーグレン症候群	5 例
リウマチ性多発筋痛症	10 例 など

<入院>10 例 (延べ人数)

関節リウマチ	1 例
強皮症	1 例
多発性筋炎	1 例
混合性結合織病	2 例
リウマチ性多発筋痛症	2 例
IgG4 関連疾患	1 例
詳細不明の関節炎	2 例

<院内連携>

他科入院、外来患者の併診(循環器、呼吸器、総合診療、整形外科、皮膚科、眼科など)

●教育

ベッドサイドなどでの on job training、内科カンファレンスでの講義

●研究・学会活動

日本リウマチ学会教育施設